I-O DATA

LAN DISK

HDL-C シリーズ

画面で見るマニュアル

03

もくじ

安全にお使いいただくために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意表示

表示	内容
危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

■絵記号の意味

禁止

指示を守る

危険

本製品を修理・改造・分解しない

火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

雷が鳴り出したら、本製品や電源ケーブルには触れない

感電の原因になります。

ぬらしたり、水気の多い場所で使わない

火災・感電の原因になります。

・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。

故障や異常のまま、つながない

本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。

そのまま使うと、火災・感電・故障の原因になります。

本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから行う

電源コードを抜かずに行うと、感電の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない

火災の原因になります。

●電源（AC アダプター・ケーブル・プラグ）について

ACアダプターや接続ケーブルは、添付品または指定品のもの以外を使わない
ケーブルから発煙したり火災の原因になります。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない
発熱、火災の恐れがあります。

ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
火災、感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルに傷が付き、火災や感電の原因になります。

添付のACアダプターや接続ケーブルは、他の機器につながない
添付の電源ケーブルおよび AC アダプターは本製品専用です。他の機器につなぐと、火災や感電の原因になります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントからプラグを抜く
そのまま使うと火災・感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
火災の原因になります。

熱器具のそばに配線しない
ケーブル被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。

⚠注意

本製品を踏まない
破損し、けがの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

長時間にわたり一定個所に触れ続けない
本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。
安全設定機関の仕様に準拠するように設計されていますので、適切な使用環境で安全面での問題は起こりません。
ただし、長時間にわたり一定個所に触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。

●電源（AC アダプター・ケーブル・プラグ）について

人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使用上のご注意

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。万が一の場合に備え、定期的に「バックアップ」を行ってください。
弊社では、いかなる場合においても記録内容の修復・復元・複製などはいたしません。
また、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても一切その責任は負いかねます。

バックアップとは

ハードディスクなどに保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（ハードディスク、やBD・DVDメディアなど）にデータの複製を作成することをいいます。外付ハードディスクなどにデータを移動させることは「バックアップ」ではありません。
同じデータが2か所にあることではじめて「バックアップ」をした事になります。万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータは使えるので安心です。不測の事態に備えるためにも、ぜひバックアップを行ってください。
本製品では、次のソフトウェアでバックアップを行うことができます。→Sync with、EasySaver 3 LE
※ソフトウェアは、弊社ホームページからダウンロードできます。（http://www.iodata.jp/kaiteki）

●本製品内蔵ハードディスクは、FAT32でフォーマットされています。本製品を、USB接続モード時にフォーマットしないでください。
フォーマットを行う場合は、必ずLAN接続モードで行ってください。
●本製品は、USB接続・LAN接続に対応しています。USB接続モードとLAN接続モードを同時に使うことはできません。
●USB接続・LAN接続を切り替える場合は、本製品の電源を切り、ケーブルをつなぎかえる必要があります。
●USB接続モード、LAN接続モードの両方で同じフォルダーを使用したい場合は、LAN接続モードでユーザーに対し、フォルダーの共有設定を行う必要があります。
●本製品はハードディスクの中にサポートソフトが入っています。フォーマットを実行するとサポートソフトも消去されます。
フォーマットを行った場合は、弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/lib/)からサポートソフトをダウンロードしてください。
●設定画面で表示されるハードディスク使用領域とWindowsからネットワークドライブに割り当ててプロパティから見た使用領域の値は異なります。
本製品で使用するファームウェアの表示における仕様で、ハードディスク側には問題はありません。正しい使用領域は、本製品の設定画面からご確認ください。
●LAN接続モードで保存した4GB以上のファイルは、USB接続モードでは読み出すことはできません。LAN接続モードで保存した4GB以上のファイルは、USB接続モードではフォルダーで表示され、読み出しできません。LAN接続モードで読み出してください。
●本製品の電源を入れ直す場合は。電源を切った後、5秒以上待ってから電源を入れてください。
●スタンバイ、休止、スリープ、サスペンド、レジュームなどのパソコンの省電力機能はご利用いただけません。
●本製品にソフトウェアをインストールしないでください。OS起動時に実行されるプログラムが見つからなくなる等の理由により、ソフトウェア（ワープロソフト、ゲームソフトなど）が正常に利用できない場合があります。
●操作中（設定の変更やファイルのコピー中など）に本製品の電源を切ったり、ケーブルを抜いたりしないでください。また、停電等で急に本製品の電源が切れることが無いようにご注意ください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。

故障を防ぐために以下にご注意ください。
●本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。
《使用時/保管時》
・振動や衝撃の加わる場所　・直射日光のあたる場所　・湿気やホコリが多い場所　・温度差の激しい場所　・熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）　・強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）　・水気の多い場所（台所、浴室など）　・傾いた場所　・腐食性ガス雰囲気中（Cl2、H2S、NH3、SO2、NOXなど）　・静電気の影響の強い場所
《使用時のみ》
・保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
・製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所
●本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。
・落としたり、衝撃を加えない　・本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
・重いものを上にのせない　・本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
●アクセスランプ点灯／点滅中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。
●本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

お手入れについて

●本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因になります。

本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

データ消去ソフト等を利用し、データを完全消去してください。

●ハードディスクに記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。
その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。
ハードディスク上のソフトウェアについて
ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。
●本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

本製品の操作におけるご注意

■操作中（設定の変更やファイルのコピー中など）に本製品の電源を切ったり、ケーブルを抜いたりしないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
■本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの補償は一切いたしかねます。故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。本製品では、以下のソフトウェアでバックアップを行うことができます。
Sync with、EasySaver 3 LE　※ソフトウェアは、弊社ホームページからダウンロードできます。（http://www.iodata.jp/kaiteki）
■本製品は、USB 接続・LAN 接続に対応しています。USB 接続モードと LAN 接続モードを同時に使うことはできません。
■USB 接続・LAN 接続を切り替える場合は、本製品の電源を切り、ケーブルをつなぎかえる必要があります。
■USB 接続モード、LAN 接続モードの両方で同じフォルダーを使用したい場合は、LAN 接続モードで、ユーザーに対しフォルダーの共有設定を行う必要があります。
■本製品内蔵ハードディスクは、FAT32 でフォーマットされています。
本製品を、USB 接続モード時にフォーマットしないでください。フォーマットを行う場合は、必ず LAN 接続モードで行ってください。
■本製品を USB 接続モード時にフォーマットしないでください。フォーマットを行う場合は、LAN 接続モードで行ってください。
■本製品はハードディスクの中にサポートソフトが入っています。フォーマットを実行するとサポートソフトも消去されます。
フォーマットを行った場合は、弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/lib/)からサポートソフトをダウンロードしてください。
■設定画面で表示されるハードディスク使用領域と Windows からネットワークドライブに割り当ててプロパティから見た使用領域の値は異なります。本製品で使用するファームウェアの表示における仕様で、ハードディスク側には問題はありません。正しい使用領域は、本製品の設定画面からご確認ください。
■LAN 接続モードで保存した 4GB 以上のファイルは、USB 接続モードでは読み出すことはできません。
LAN 接続モードで保存した 4GB 以上のファイルは、USB 接続モードではフォルダーで表示され、読み出しできません。LAN 接続モードで読み出してください。
■本製品の電源を入れ直す場合は。電源を切った後、5 秒以上待ってから電源を入れてください。

LAN 接続モード時のご注意

■本製品は、DHCP サーバーがある環境では、自動的に DHCP サーバーより IP アドレスが割り当てられるため、本製品の IP アドレスを設定する必要はありません。ただし、DHCP サーバーのない環境（パソコンにそれぞれ固定の IP アドレスを設定している環境）では、ネットワークに応じた IP アドレスを設定する必要があります。
■本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保を行ってください。
■同じネットワークに本製品を複数台導入する場合は、本製品の[IP アドレス]を別のものに変更する必要があります。
■複数のパソコンを接続する場合は、ハブ(ルーターなど)が必要となります。
■無線 LAN で接続する場合は、無線 LAN アクセスポイントと無線 LAN アダプターを接続したパソコンが必要となります。
■LAN 接続モードでご使用の場合は、本製品の時刻を正しく合わせておく必要があります。インターネットに接続可能な環境で、起動時にサーバーと同期する設定でのご使用をおすすめします。

ネットワークで共有する場合の注意

■ファイヤーウォールソフトをお使いの場合、本製品へアクセスできない場合があります。
その場合、ファイヤーウォールソフト側で、137～139 番、445 番のポートにアクセス許可する設定を行ってください。
■本製品にネットワーク経由で接続の場合、最大同時接続台数は 8 台です。（ネットワークドライブの割り当ても同様です。）
同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。
■本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、半角 255 文字（全角 85 文字）までとなります。
※使用する文字によっては、使用可能な文字数が少なくなる場合があります。

共有、ユーザーの設定時の注意

■本製品出荷時に、「guest」というユーザーが作成されています。
ユーザー「guest」は、本製品出荷時に登録されているフォルダー「disk」が共有フォルダーとして初期設定されています。
ネットワークに接続されているすべてのパソコンからユーザー名：guest でログインすることにより、「disk」フォルダーへアクセスすることができます。
■共有フォルダーへアクセス後、続けて他のユーザーで共有フォルダーにアクセスすることはできません。他のユーザーでアクセスする場合は、お使いのパソコンをログオフする必要があります。
■本製品に作成する共有フォルダーは、ユーザーごとにフォルダーの共有設定を行うことで、各フォルダーにアクセスが可能となります。
ただし、USB 接続モードでは、すべての共有フォルダーにアクセスできますのでご注意ください。
■本製品に登録可能なユーザー数は最大 16 個まで、共有フォルダー数は 1 ユーザーあたり最大 16 個までとなります。
■ユーザー名には数字のみの名称は設定できません。
■LAN DISK の名前およびワークグループ名は、数字で始まる名称は使用できません。
■共有名に、スペースは使用できません。
■設定時に使用できる文字や文字数には制限があります。【文字制限一覧】（64ページ）をご覧ください。

USB 接続モード時のご注意

■USB 2.0 インターフェイスでの動作は、弊社製 USB 2.0 インターフェイスにおいて確認を行っております。
その他のインターフェイスとの動作対応については、各インターフェイスメーカーにお問い合せください。
■USB 2.0 でご使用いただくには、USB ポートおよび OS が USB 2.0 に対応している必要があります。
対応していない場合は、USB 1.1 として動作します。
■本製品を添付の USB ケーブルでパソコンに接続する場合、
右の画面のようなフォルダーおよびファイルが表示されます。
次のアプリケーションやフォルダーおよびファイルは消去しないでください。
[disk]、[SupportSoft]、[EasySetup]、[Magical Finder]
※本製品を USB 接続モード時にフォーマットしないでください。

名前
disk
SupportSoft
EasySetup
MagicalFinder

■USB 接続モードで保存したデータを、LAN 接続モードでも使用する場合は、LAN 接続モードで、ユーザーごとにデータを保存したフォルダーの共有設定を行う必要があります。
■1 ファイルで 4GB 以上あるファイルは、保存できません。
■USB 接続モード時に、フォーマットは行わないでください。
フォーマットする場合は、いったん LAN 接続で接続し、設定画面より行ってください。

セットアップ

セットアップする

本製品の使い方を選択してください。

LAN 接続モードで使用する場合

【EasySetup で設定する】（11ページ）をご覧ください。
※EasySetup にて設定する方法です。（初心者向け）

【Magical Finder で設定する】（15ページ）をご覧ください。
※Magical Finder にて設定する方法です。（上級者向け）

どちらか一方のみ行ってください。
● 「EasySetup で設定する」と「Magical Finder で設定する」がありますが、どちらか一方のみ行ってください。

USB 接続モードで使用する場合

【USB 接続をする場合】（24ページ）をご覧ください。

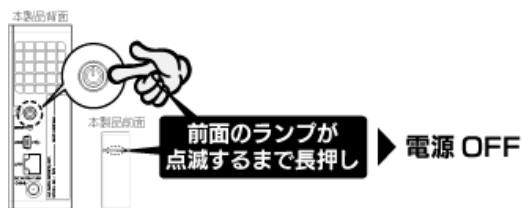
(重要)電源を切る方法

●電源を切る場合にご注意ください
動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きタップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

●長期間使用しない場合
AC アダプターをコンセントから外しておくことをおすすめします。

LAN 接続モードの場合

1 本製品前面の[STATUS]ランプが緑点灯であること確認します。

2 本製品背面の[POWER]ボタンを、[STATUS]ランプが点滅するまで長押しします。

3 [STATUS]ランプが消灯し、自動的に電源が切れます。

USB 接続モードの場合

電源を切る前に、パソコンから本製品の取り外し処理が必要です。
【パソコンから取り外す】 （25ページ）をご覧ください。

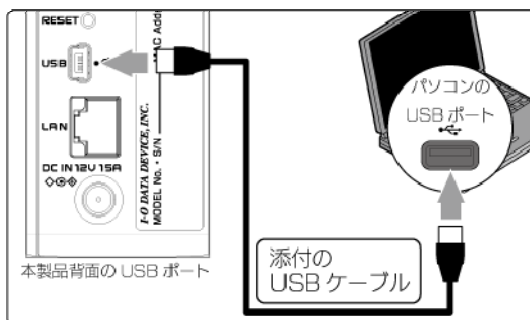
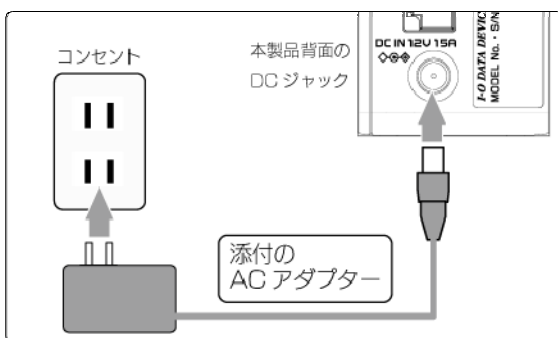
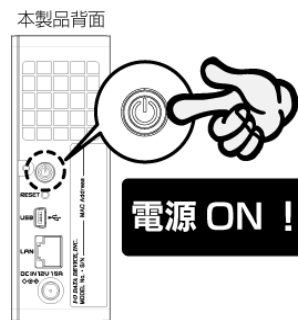
EasySetup で設定する

初期設定

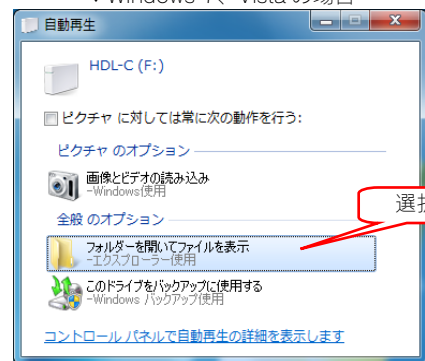
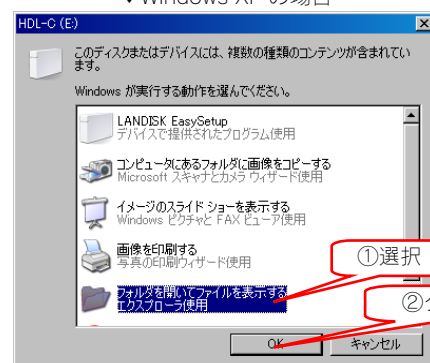
USB で接続せず、はじめから LAN で接続して設定する場合は、【Magical Finder で設定する】（15ページ）をご覧ください。

ステップ１：セットアップの準備をする

1 パソコンがルーターやハブなどのネットワーク機器に接続されていることを確認し、パソコンを起動します。

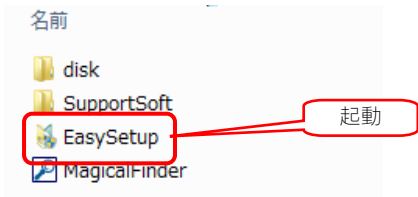
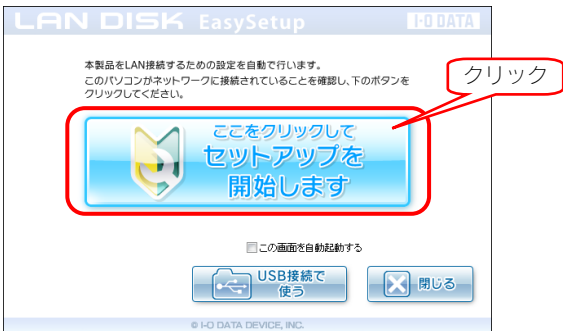
2 本製品添付の USB ケーブルをパソコンと本製品背面の USB ポートにつなぎます。

3 本製品添付の AC アダプターをコンセントに接続します。

4 本製品背面の[POWER]ボタンを押します。
[STATUS]ランプが緑点灯になるまでお待ちください。

5 本製品が認識されると画面が表示されますので、[フォルダーを開いてファイルを表示]を選択します。
（[OK]ボタンがある場合はクリックします。）

▼Windows 7、Vista の場合

▼Windows XP の場合

画面が表示されない場合
コンピューター（マイコンピュータなど）から、本製品を開きます。

▼Windows 7 の例

ステップ２：EasySetup を実行する

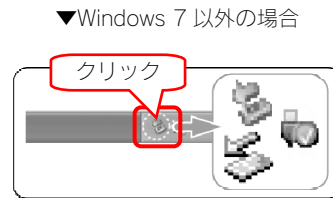
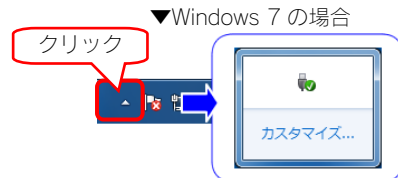
1	本製品内の［EasySetup］をダブルクリックします。

2	[ここをクリックしてセットアップ開始します]をクリックします。 パソコンが接続されているネットワーク構成に合わせて最適な設定がされます。

3	[完了]をクリックします。 ※設定内容を変更する場合は、[自分で設定]ボタンをクリックし変更してください。

4	しばらく（約１５秒）お待ちになり、デスクトップに、下の２つのアイコンと 【HDL-C 画面で見るマニュアル】が作成されたことを確認します。

ステップ３：LAN で接続する

1	本製品をパソコンから取り外します。 ①画面右下のアイコンをクリックします。 ②Windows ７の場合は、表示された取り外しアイコンをクリックします。 Windows 7 以外の場合は、表示された「USB 大容量記憶装置デバイス」より本製品の表示をクリックします。 ※複数の機器を接続している場合は、ドライブ文字で判断してください。

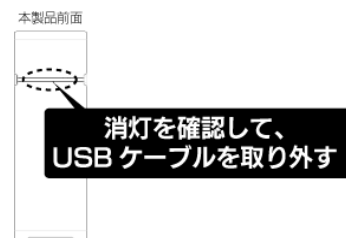
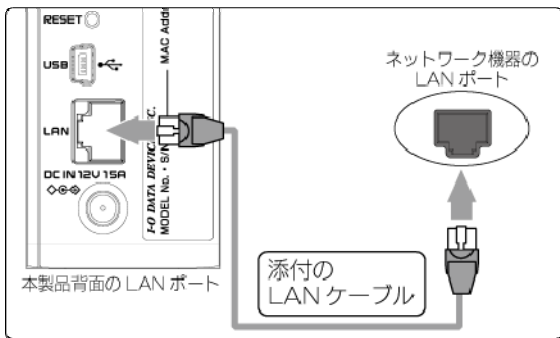
▼Windows 7 の場合

▼Windows 7 以外の場合

取り外しができない場合

起動中のソフトウェアを終了して再度お試しください。

※それでも取り外しができない場合は、パソコンの電源を切ってから取り外してください。

2	電源を切ります。 本製品背面の[POWER]ボタンを、［STATUS］ランプが点滅するまで長押しします。

3	消灯を確認して、パソコンと本製品背面の USB ポートから、USB ケーブルを取り外します。

本製品添付のLANケーブルを本製品背面のLANポートに接続し、もう一方をルーターやハブなどのネットワーク機器に接続します。

本製品背面の[POWER]ボタンを押します。
[STATUS]ランプが緑点灯になるまでお待ちください。

以下のような画面が表示された

【EasySetupを実行したら選択画面が表示された】（76ページ）をご確認ください。

以上で初期設定は完了しました。
【ネットワークから本製品にアクセスする】（次ページ）へお進みください。

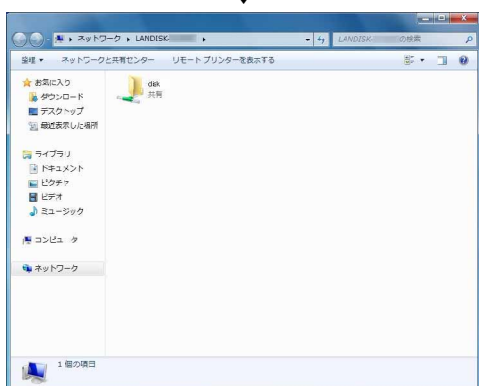
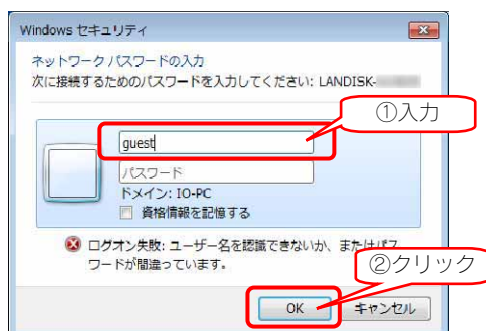
ネットワークから本製品にアクセスする

1 デスクトップ上の[LANDISK-xxxxxx]アイコンをダブルクリックします。

「LANDISK-xxxxxx」アイコンをダブルクリックしたが、アクセスができない場合
【「LANDISK-xxxxxx」アイコンをダブルクリックしてもアクセスができない】（83ページ）をご覧ください。

2 接続すると左の画面が表示されます。
（画面は Windows 7の例）
ユーザー名に「guest」を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

パスワードについて
パスワードは入力せずに、ユーザー名のみ入力してください。

▼

共有フォルダーのウィンドウが表示されたら、共有フォルダーとして使用できます。

上記手順でアクセスできない
【2台目以降のパソコンから本製品にアクセスする】（21ページ）をご覧ください。

共有フォルダーの使い方

共有したいファイルをドラッグアンドドロップなどで、本製品の[disk]フォルダーにコピーすると、他のパソコンからも共有できます。

●本製品の電源は常時入れた状態でご利用いただけます。
●パソコンを再起動してからアクセスする場合には、「guest」の入力が必要になります。

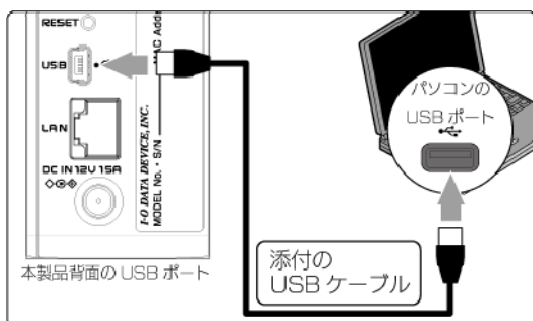
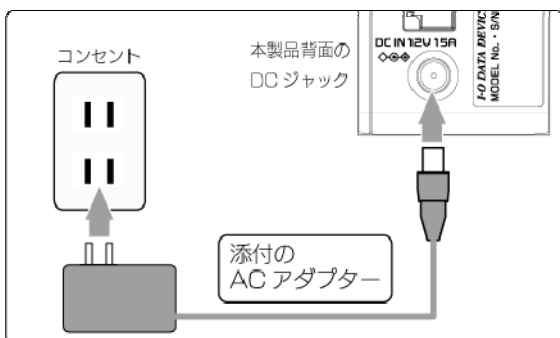
毎回アクセス時にパスワードを入力しないようにしたい
【毎回「guest」入力をせず、アクセスができるようにしたい】（83ページ）をご覧ください。

Magical Finder で設定する

※EasySetup で利用できている場合は、本設定を行う必要はありません。

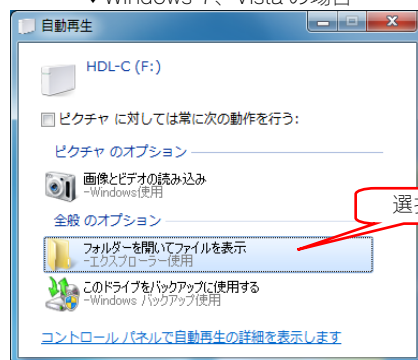
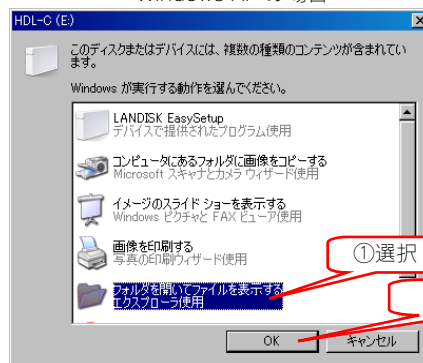
①設定ソフトをインストールする

1 設定に使用するパソコンを起動します。

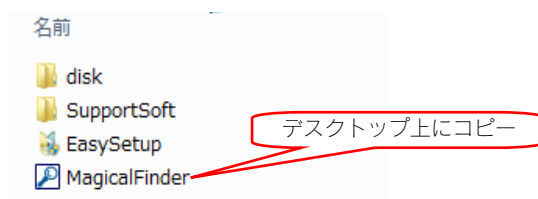
2 本製品添付の USB ケーブルをパソコンと本製品背面の USB ポートにつなぎます。
※USB 接続時は、本製品に LAN ケーブルを挿さないでください。

3 本製品添付の AC アダプターをコンセントに接続します。

4 本製品背面の[POWER]ボタンを押します。
[STATUS]ランプが緑点灯になるまでお待ちください。

本製品背面

5 本製品が認識されると画面が表示されますので、[フォルダーを開いてファイルを表示]を選択します。
([OK]ボタンがある場合はクリックします。)

▼Windows 7、Vista の場合

▼Windows XP の場合

画面が表示されない場合
コンピューター（マイコンピュータなど）から、本製品を開きます。

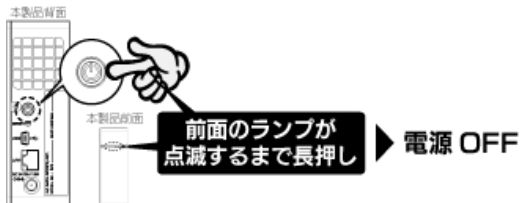
▼Windows 7 の例

6 [Magical Finder]をデスクトップにコピーします。

本製品をパソコンから取り外します。
①画面右下のアイコンをクリックします。
②Windows 7の場合は、表示された取り外しアイコンをクリックします。
Windows 7 以外の場合は、表示された「USB 大容量記憶装置デバイス」より本製品の表示をクリックします。
※複数の機器を接続している場合は、ドライブ文字で判断してください。

▼Windows 7 の場合

▼Windows 7 以外の場合

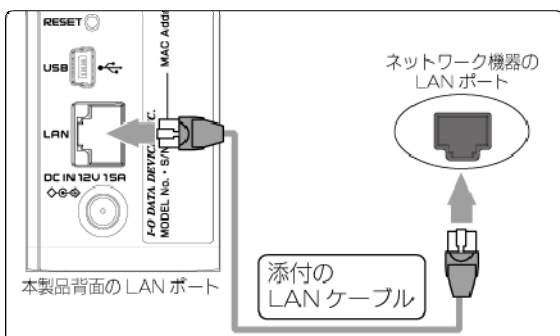
取り外しができない場合
起動中のソフトウェアを終了して再度お試しください。
※それでも取り外しができない場合は、パソコンの電源を切ってから取り外してください。

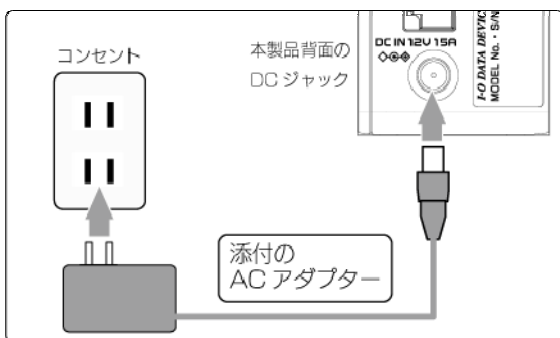
電源を切ります。
本製品背面の[POWER]ボタンを、［STATUS］ランプが点滅するまで長押しします。

消灯を確認して、パソコンと本製品背面の USB ポートから、USB ケーブルを取り外します。

以上でインストールは完了しました。次ページへお進みください。

②本製品をネットワークに導入する

1 ネットワーク内のパソコン、ルーター、アクセスポイントなどが正常に動作していることを確認します。

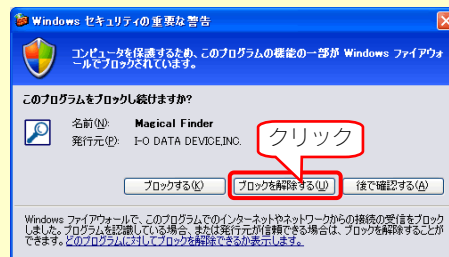
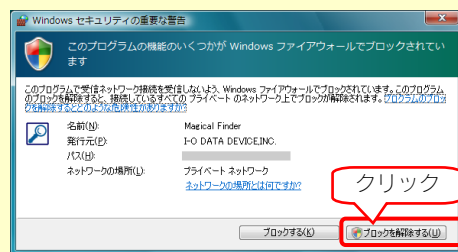
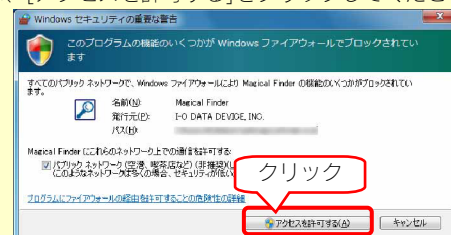
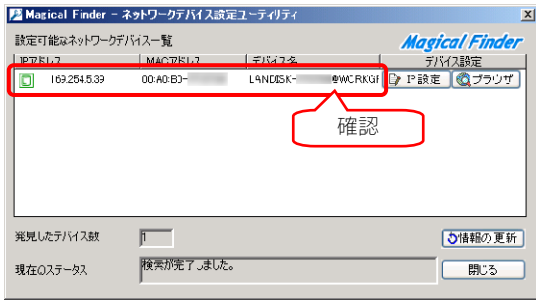
2 本製品添付の LAN ケーブルを本製品背面の LAN ポートに接続し、もう一方をルーターやハブなどのネットワーク機器に接続します。
※LAN 接続時は、本製品に USB ケーブルを挿さないでください。

注意 ●必ず、LAN ケーブルを先に接続してください。
LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

3 本製品添付の AC アダプターをコンセントに接続します。

注意 ●電源を切る場合にご注意ください。
動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きタップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

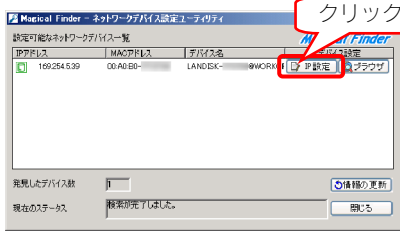
4 本製品背面の[POWER]ボタンを押します。
[STATUS]ランプが緑点灯になるまでお待ちください。

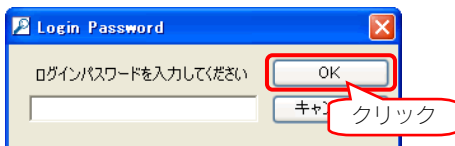
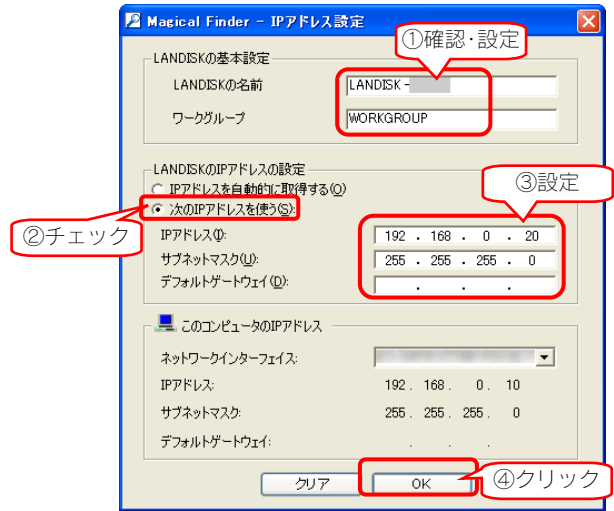
本製品背面

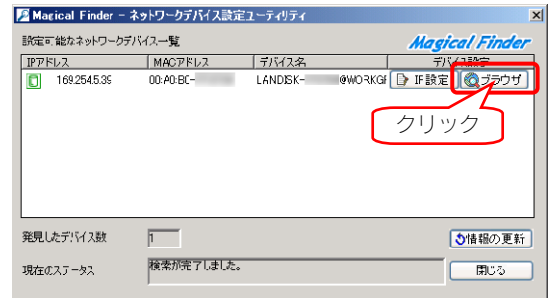
5 デスクトップ上にコピーした[MagicalFinder]をダブルクリックします。

注意 ●Windows XP をお使いで、以下の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックしてください。

●Windows Vista®をお使いで、以下の画面が表示された場合、[ブロックを解除する]をクリックしてください。その後[ユーザーカウント制御]の表示がされた場合は、「続行する」をクリックしてください。

●Window 7 をお使いで、以下の画面が表示された場合は、[アクセスを許可する]をクリックしてください。

6 自動で本製品が検索されます。

本製品が検索されない！
対処１：30 秒ほど待ってから[情報の更新]ボタンをクリックしてください。
対処２ ：以下をご覧ください。
【困ったときには】（80ページ）

7 本製品の[STATUS]ランプの状態を確認してください。

緑点灯のみ	次に、11 へお進みください。
緑点灯かつ赤点滅	[IP 設定]ボタンをクリックします。 次に、8 へお進みください。

●ネットワーク内に DHCP サーバーがない場合、［STATUS］ランプは緑点灯かつ赤点滅します。
ネットワーク内に DHCP サーバーがあるのに緑点灯かつ赤点滅している場合は、以下の手順を行ってみてください。
①いったん、本製品の～(［STATUS］ランプが点滅するまで長押ししてください。)
②DHCP サーバーが正しく動作していること、本製品とネットワーク機器が LAN ケーブルで正しく接続されていることを確認します。
③［POWER］ボタンを押して、再度本製品の電源を入れます。
※DHCP サーバーがあるかどうかの確認方法については、【困ったときには】(76ページ)をご覧ください。

8 何も入力せずに［OK］ボタンをクリックします。

9 ［LANDISK の名前］［ワークグループ］を確認後、お使いのネットワークに合わせた IP アドレスを設定後、［OK］ボタンをクリックします。
※画面の詳細は次ページを参照してください。

10 ［OK］ボタンをクリックします。

11 ［ブラウザ］ボタンをクリックします。

12 ユーザー名に｢admin｣を入力し、[OK]ボタンをクリックします。
(出荷時はパスワードは設定されていません。)

13	システムの時刻設定を行います。 ①システムの[システム時刻設定]ボタンをクリックします。 ②[PC の時刻を設定]をクリック後、[設定]ボタンをクリックします。 ※設定方法は、【時刻設定を行う】（49ページ）をご覧ください。

▼［IP アドレス設定］画面

<table>
<tr><td colspan="3">LANDISK の基本設定</td></tr>
<tr><td>LANDISK の名前</td><td colspan="2">ネットワーク上（［マイネットワーク］あるいは［ネットワークコンピュータ］など）に表示される本製品の名称です。【注意：[LANDISK]の名前について】を参照してください。
※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（64ページ）を参照してください。
※変更する場合は、必ずメモしてください。</td></tr>
<tr><td>ワークグループ</td><td colspan="2">"ワークグループ"はパソコンの"ワークグループ名"と一致しなければなりません。（パソコンのワークグループ名を確認してください。）
ただし、ワークグループの名前が一致していない場合でも本製品にアクセスすることは可能です。
※使用できる文字には制限があります。
【文字制限一覧】（64ページ）を参照してください。</td></tr>
<tr><td colspan="3">LANDISK の IP アドレス設定</td></tr>
<tr><td>IP アドレスを自動的に取得する</td><td colspan="2">ネットワーク内に DHCP サーバーがある場合にチェックします。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">次の IP アドレスを使う</td><td colspan="2">固定の IP アドレスを使う場合にチェックします。</td></tr>
<tr><td>IP アドレス</td><td>本製品に設定する IP アドレスを入力します。
※使用しているネットワークのセグメント(IP アドレスのグループ)をご確認の上、他のネットワーク機器やパソコンの IP アドレスと重複しないように設定してください。</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td>パソコンと同じサブネットマスクを入力します。
画面の［このコンピュータの IP アドレス］欄の［サブネットマスク］と同じ値を入力します。</td></tr>
<tr><td>デフォルトゲートウェイ</td><td>パソコンと同じデフォルトゲートウェイを入力します。
画面の［このコンピュータの IP アドレス］欄の［デフォルトゲートウェイ］と同じ値を入力します。表示されていない場合、入力する必要はありません。</td></tr>
<tr><td colspan="3">このコンピュータの IP アドレス</td></tr>
<tr><td>ネットワークインターフェイス</td><td colspan="2">パソコンのネットワークインターフェイス（LAN アダプター名など）を表示します。</td></tr>
<tr><td>IP アドレス</td><td colspan="2">パソコンの IP アドレスを表示します。</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td colspan="2">パソコンのサブネットマスクを表示します。</td></tr>
<tr><td>デフォルトゲートウェイ</td><td colspan="2">パソコンのデフォルトゲートウェイを表示します。通常、ルーターの IP アドレスが設定されています。設定されていない場合、表示されません。</td></tr>
</table>

●[LANDISK]の名前について

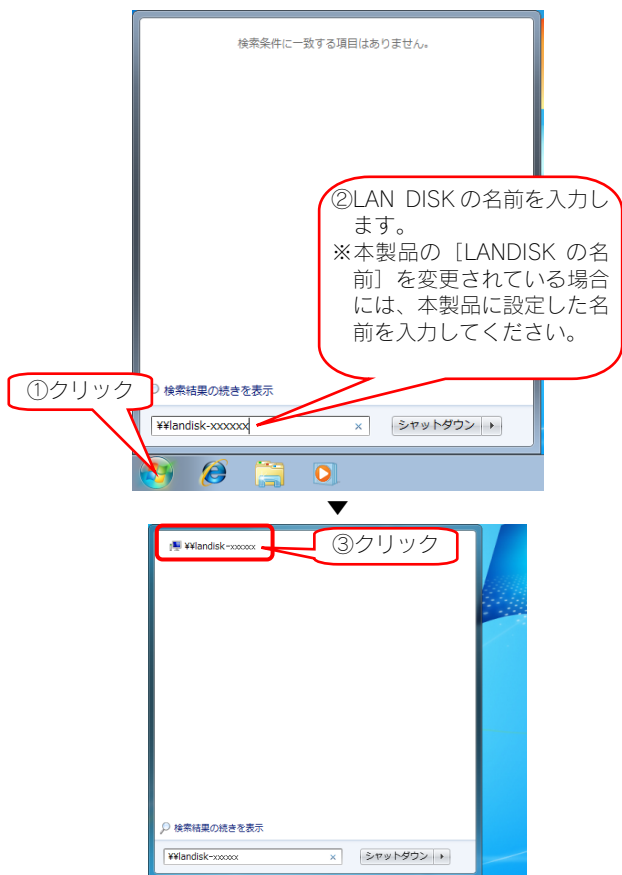
本製品は、出荷時設定として製品ごとに[LANDISK-xxxxxx]の名前が設定されてます。
（xxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁）
MAC アドレスは、本製品背面のシールに記載されています。※MAC アドレスは、0～9 の数字と A～F までのアルファベットで構 成されています。

以上でネットワークへの導入は完了しました。次ページへお進みください。

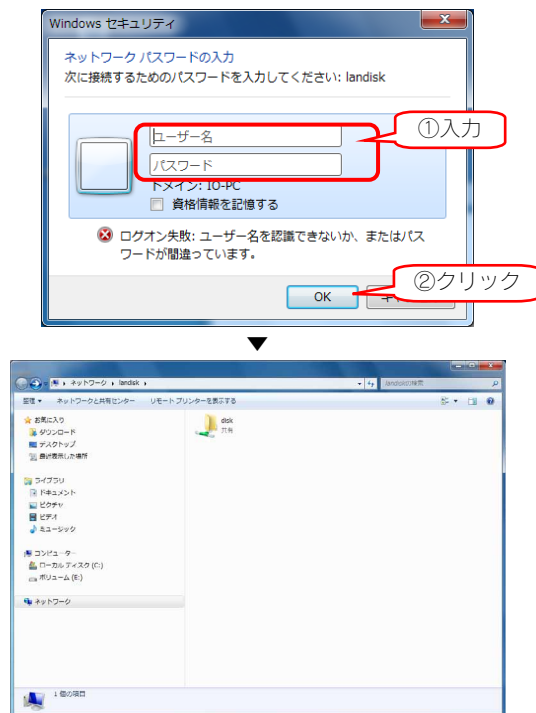
２台目以降のパソコンから本製品にアクセスする

アクセス方法は OS により異なりますので、下記のご使用の OS を参照してください。EasySetup を使用せず MagicalFinder を使用して設定を行った場合も、以下の手順で本製品にアクセスします。

Windows ７からアクセスする

1 [スタート]をクリックし、[プログラムとファイルの検索]をクリック後、「¥¥landisk-xxxxxx」と入力します。
検索された「landisk-xxxxxx」を選択します。
※xxxxxx は、MAC アドレスの下６桁です。
【注意：[LANDISK]の名前について】（20ページ）を参照してください。
※本製品の「LANDISK の名前」を変更した場合は、¥¥の後に変更した名前を入力してください。

LANDISK-xxxxxx が検索されない！
⇒以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の85ページ

2 ユーザー名・パスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。
●出荷時設定
ユーザー名：guest　　パスワード：（なし）
→本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。
表示された［disk］フォルダー内にファイルを書き込むことができます。このフォルダー内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。

パスワードについて
パスワードは入力せずに、ユーザー名のみ入力してください。

正常に共有フォルダーのウィンドウが表示されたら、共有フォルダーとして使用できます。
ネットワークドライブの割り当てを行うことで、[マイコンピュータ]上から簡単にアクセスできるようになります。
ネットワークドライブの割り当て方法は、【ネットワークドライブの割り当て方法がわからない】（100ページ）をご覧ください。

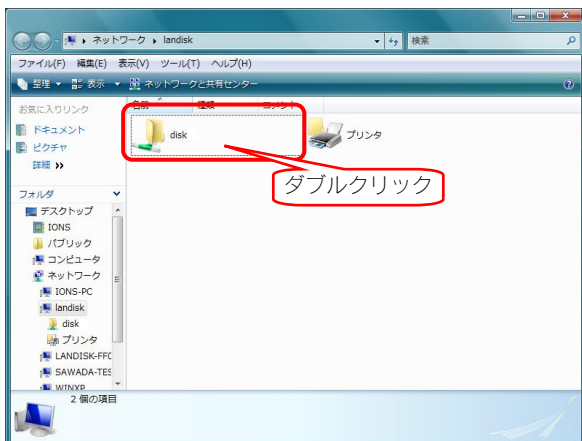
毎回ユーザー名とパスワードの画面が出ないようにするには？
⇒以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の83ページ

Windows Vista®からアクセスする

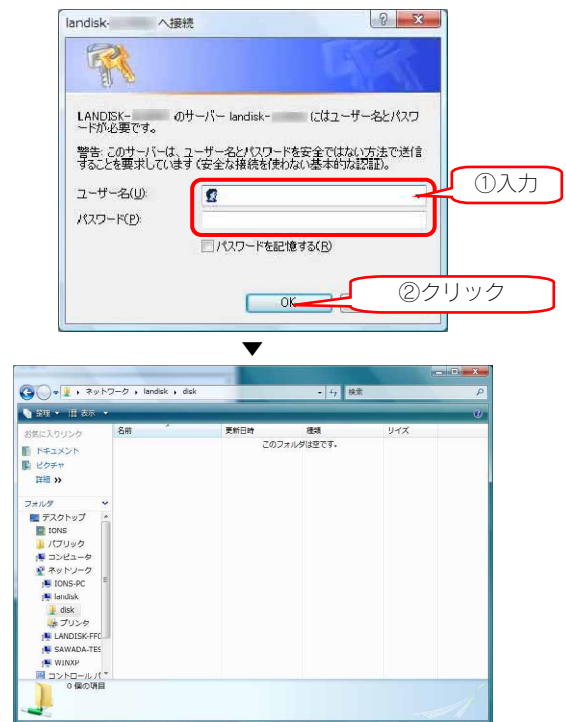
1 [スタート]をクリックし、[検索の開始]をクリック後、「¥¥landisk-xxxxxx」と入力し[Enter]キーを押します。
※xxxxxx は、MAC アドレスの下６桁です。
【注意：[LANDISK]の名前について】（20ページ）を参照してください。
※本製品の「LANDISK の名前」を変更した場合は、¥¥の後に変更した名前を入力してください。

▼

？ LANDISK-xxxxxx が検索されない！
⇒以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の85ページ

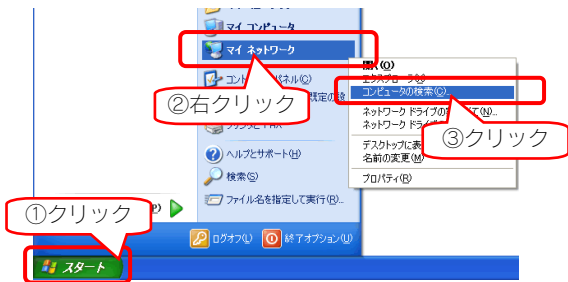
2 本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。
[disk]フォルダーをダブルクリックします。

3 ユーザー名・パスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。
●出荷時設定
ユーザー名：guest　　パスワード：（なし）
表示された［disk］フォルダー内にファイルを書き込むことができます。このフォルダー内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。

？ パスワードについて
パスワードは入力せずに、ユーザー名のみ入力してください。

▼

正常に共有フォルダーのウィンドウが表示されたら、共有フォルダーとして使用できます。
ネットワークドライブの割り当てを行うことで、[マイコンピュータ]上から簡単にアクセスできるようになります。
ネットワークドライブの割り当て方法は、【ネットワークドライブの割り当て方法がわからない】（100ページ）をご覧ください。

？ 毎回ユーザー名とパスワードの画面が出ないようにするには？
⇒以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の83ページ

Windows XP からアクセスする

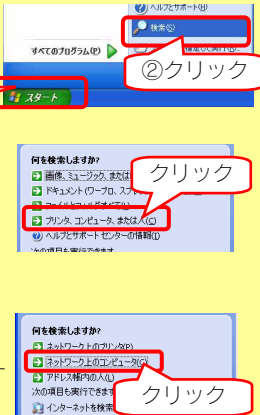
1 ［スタート］→［マイネットワーク］→［コンピュータの検索］をクリックします。

表示に［マイネットワーク］がない場合は、以下の手順を行います。

①［スタート］→［検索］をクリックします。

①クリック
②クリック

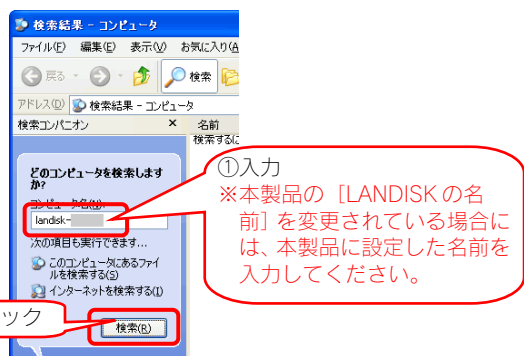
②"何を検索しますか？"で［プリンタ、コンピュータ、または人］をクリックします。

クリック

③"何を検索しますか？"で［ネットワーク上のコンピュータ］をクリックします。

クリック

2 [コンピュータ名]に「landisk-xxxxxx」と入力し、[検索]ボタンをクリックします。

※xxxxxx は、MAC アドレスの下６桁です。

【注意：[LANDISK]の名前について】（20ページ）を参照してください。

3 「Landisk」が検索されますので、ダブルクリックします。
※表示のされ方は Windows の設定により異なります。

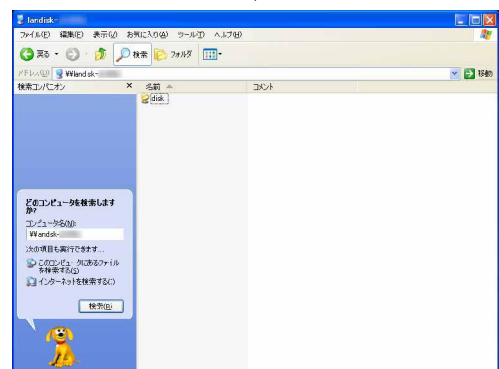
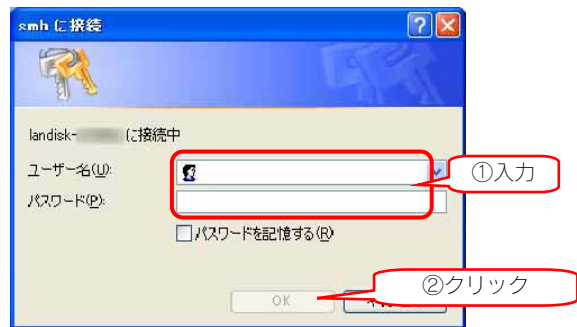
２つ表示された場合は、どちらかをダブルクリックします。
Windows XP から、本製品のコンピュータ名で検索を行った場合、２つの LAN DISK が発見されることがあります。
２つのうちどちらかをダブルクリックしてください。
これは、本製品が使用しているファームウェアによる仕様となります。

LANDISK-xxxxxx が検索されない！
⇒以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の85ページ

4 ユーザー名・パスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

●出荷時設定
ユーザー名：guest　　パスワード：（なし）
表示された［disk］フォルダー内にファイルを書き込むことができます。このフォルダー内にファイルを書き込んで、他のユーザーと共有することができます。

パスワードについて
パスワードは入力せずに、ユーザー名のみ入力してください。

▼

正常に共有フォルダーの画面が表示されたら、共有フォルダーとして使用できます。
ネットワークドライブの割り当てを行うことで、[マイコンピュータ]上から簡単にアクセスできるようになります。
ネットワークドライブの割り当て方法は、【ネットワークドライブの割り当て方法がわからない】（100ページ）をご覧ください。

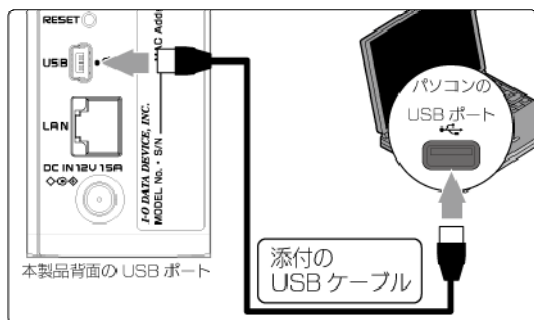
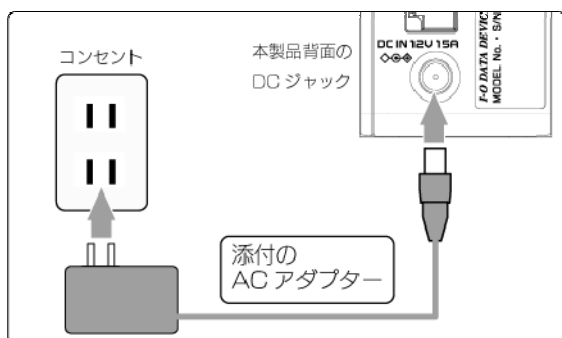
毎回ユーザー名とパスワードの画面が出ないようにするには？
⇒以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の83ページ

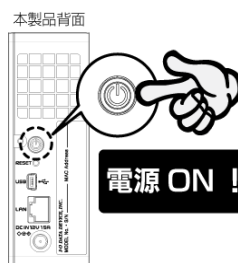
USB 接続をする場合

●USB 接続モード時に、フォーマットは行わないでください。
フォーマットする場合は、いったん LAN 接続で接続し、設定画面より行ってください。
USB 接続時にフォーマットをすると LAN 接続モードで使用できなくなります

パソコンに接続する

1 パソコンを起動します。

2 本製品添付の USB ケーブルをパソコンと本製品背面の USB ポートにつなぎます。
※USB 接続時は、本製品に LAN ケーブルを挿さないでください。

3 本製品添付の AC アダプターをコンセントに接続します。

●電源を切る場合にご注意ください。
動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きタップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

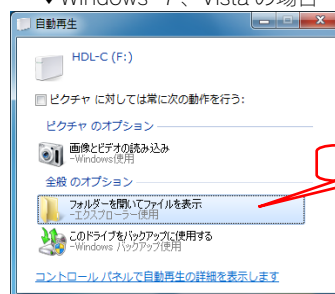
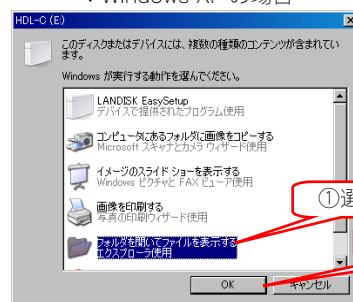
4 本製品背面の[POWER]ボタンを押します。
［STATUS］ランプが緑点灯するまでお待ちください。

5 外付けハードディスクとして認識されます。
本製品が認識されると画面が表示されますので、[フォルダーを開いてファイルを表示]を選択します。
（[OK]ボタンがある場合はクリックします。）

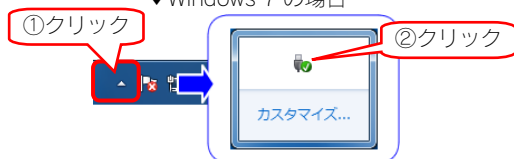
▼Windows 7、Vista の場合

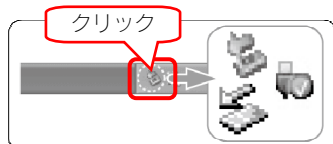
▼Windows XP の場合

画面が表示されない場合
コンピューター（マイコンピュータなど）から、本製品を開きます。

▼Windows 7 の例

HDL-C (F:)
空き領域 465 GB/465 GB

パソコンから取り外す

1 本製品をパソコンから取り外します。
①画面右下のアイコンをクリックします。
②Windows 7の場合は、表示された取り外しアイコンをクリックします。
Windows 7 以外の場合は、表示された「USB 大容量記憶装置デバイス」より本製品の表示をクリックします。
※複数の機器を接続している場合は、ドライブ文字で判断してください。

▼Windows 7 の場合

▼Windows 7 以外の場合

取り外しができない場合
起動中のソフトウェアを終了して再度お試しください。
※それでも取り外しができない場合は、パソコンの電源を切ってから取り外してください。

2 電源を切ります。
本製品背面の[POWER]ボタンを、［STATUS］ランプが点滅するまで長押ししてください。

3 消灯を確認して、パソコンと本製品背面の USB ポートから、USB ケーブルを取り外します。

以上で、取り外しは完了です。

設定画面を開く

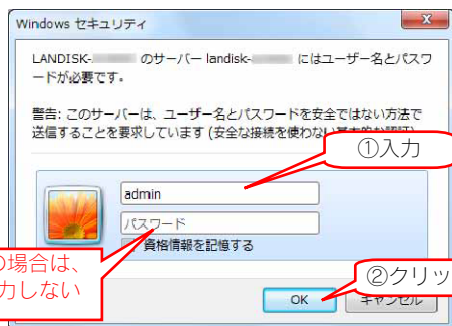
本製品の設定画面の開き方を説明します。設定画面を開くには、LAN 接続モードで行ってください。

設定画面は、ユーザー名「admin」のみがアクセスできます。
ユーザー名「admin」は、ユーザー名を変更することはできません。
パスワードの変更は可能です。(出荷時は、パスワードは設定されていません)

【EasySetup で作成したショートカットから開く】（以下）をご覧ください。
※EasySetup にて設定した場合
【Magical Finder から開く】（27ページ）をご覧ください。
※Magical Finder にて設定した場合

EasySetup で作成したショートカットから開く

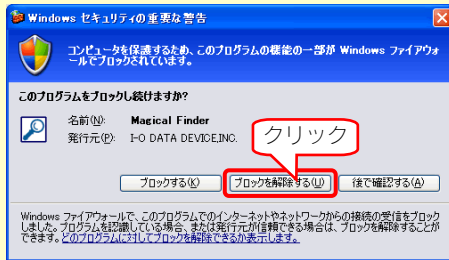
1 デスクトップ上に作成された[LANDISK-xxxxxxWEB 設定画面]アイコンをダブルクリックします。

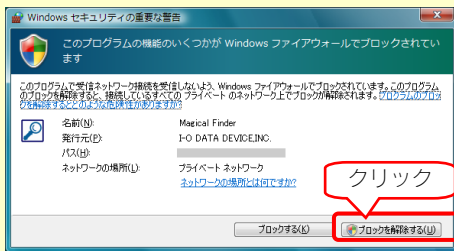
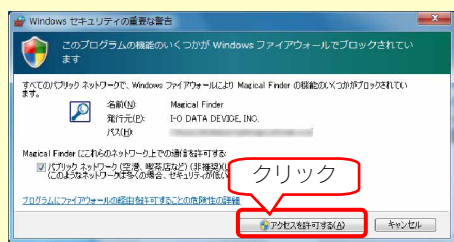
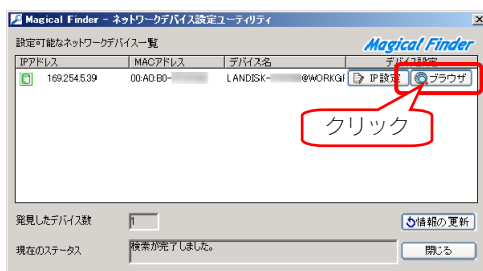
2 以下の画面が表示されます。
ユーザー名「admin」、パスワードを入力後（出荷時はパスワードは設定されていません）、［OK］ボタンをクリックします。

パスワード認証に失敗し、設定画面が表示されない！
対処：以下をご覧ください。
【困ったときには】の89ページ

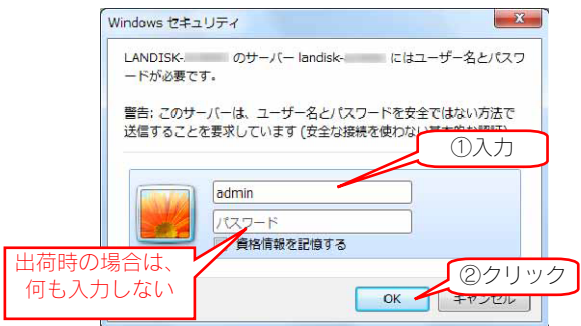
3 設定画面が表示されます。

Magical Finder から開く

※Magical Finder にて設定した場合にご覧ください。

1 デスクトップにコピーした{Magical Finder}を起動します。

●Windows XP をお使いで、以下の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックしてください。

●Windows Vista をお使いで、以下の画面が表示された場合、[ブロックを解除する]をクリックしてください。その後[ユーザーカウント制御]の表示がされた場合は、「続行する」をクリックしてください。

●Window 7 をお使いで、以下の画面が表示された場合は、[アクセスを許可する]をクリックしてください。

2 自動で本製品が検索されますので、[ブラウザ]ボタンをクリックします。
※本製品の電源が ON になってから、検索されるまでに約 1 ～2 分かかる場合があります。

本製品が検索されない！
対処１：30 秒ほど待ってから[情報の更新]ボタンをクリックしてください。
対処２：以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の80ページ

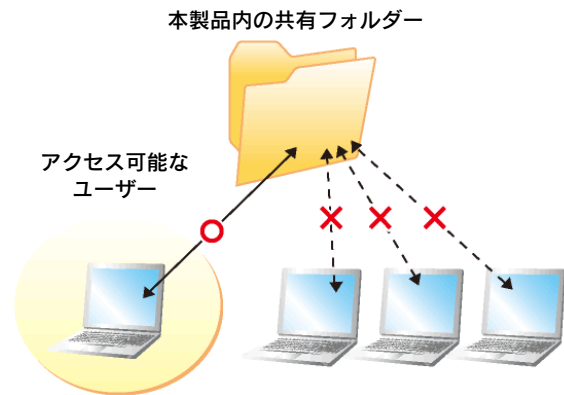
3 以下の画面が表示されます。
ユーザー名「admin」、パスワードを入力後（出荷時はパスワードは設定されていません）、［OK］ボタンをクリックします。

パスワード認証に失敗し、設定画面が表示されない！
対処：以下をご覧ください。
【困ったときには】の89ページ

4 設定画面が表示されます。

共有フォルダーを設定する

共有フォルダーとは？

本製品内のフォルダーを共有フォルダーとして設定すると、
ネットワーク上のパソコンから、この共有フォルダー内の
ファイルにアクセスできます。
これを「ファイル共有する」といいます。

共有フォルダーとして使用するには、本製品に設定したユーザー
ごとにフォルダーの共有設定を行う必要があります。
アクセスの許可も、ユーザーごとに設定できます。

出荷時に登録されているユーザー、フォルダーについて

本製品出荷時に、「guest」というユーザーが作成されています。
ユーザー「guest」は、本製品出荷時に登録されているフォルダー「disk」が共有フォルダーとして初期設定されています。
ネットワークに接続されているすべてのパソコンからユーザー名：guest でログインすることにより、「disk」フォルダーへアクセスすることができます。
※ユーザー「guest」の出荷時設定については、【出荷時設定一覧】（63ページ）をご覧ください。
※誰でもフォルダーにアクセスできるようにする設定について
本製品では、ユーザーそれぞれに対してアクセス可能なフォルダーを設定します。
そのため、誰でもアクセスできるようにしたい場合は、登録したすべてのユーザーに対して、アクセスしたいフォルダーを共有設定してください。

ユーザー「guest」以外の登録ユーザーでも、フォルダー「disk」を共有設定すると、ユーザー「guest」と同様に共有フォルダーとして使用できます。
また、ユーザー「guest」に初期設定されているフォルダー「disk」以外のフォルダーを共有フォルダーとして設定することもできます。

共有フォルダー使用上の注意

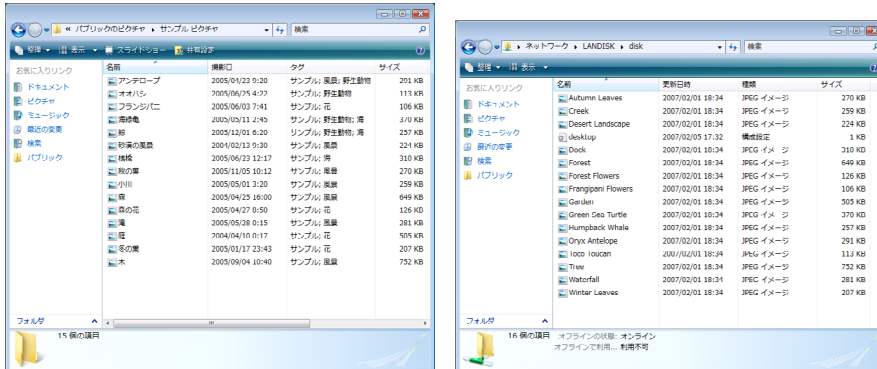
Windows Vista®での制限・ご注意

●Windows Vista®の「ファイルのバックアップ」機能について

Windows Vista®付属の「ファイルのバックアップ」機能で、バックアップの保存先として本製品の共有フォルダーを指定することはできません。

●Windows Vista®上の表示と共有フォルダー上の表示の違いに関する注意

Windows Vista®に標準インストールされるサンプルピクチャフォルダーのファイルは、Windows Vista®上では画面例(左)のように表示されています。

画面例左のサンプルピクチャを共有フォルダー上にコピーすると、画面例（右）のように全く名前が異なって表示されます。

実際のファイル名は、LAN DISK 共有フォルダーで表示されるアルファベット文字のファイル名で正しいようですが、Windows Vista®上のサンプルピクチャのフォルダーはファイルの表示設定が、実ファイル名表示しない設定がデフォルト設定になっています。

このように名前＝ファイル名ではないフォルダー表示設定が Windows Vista®では可能ですので、注意してください。

ファイル名やフォルダー名の文字制限

本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、OS により以下の文字数までとなっています。

半角 255 文字（全角 85 文字）まで

※使用する文字種によっては上記の数値よりも少なくなる場合があります。

※Windows 7、Vista では従来の Windows と比較し、扱える文字数が増えています。

よって Windows 7、Vista でのみ使用可能な文字を共有フォルダーに保存するファイル名やフォルダー名に使用した場合、従来の Windows で参照すると文字が正しく表示されない場合があります。

Windows 7、Vista と従来の Windows との間で文字表示について問題が発生しないようにするには Micorosoft 社の公開情報 (http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp_font/default.mspx)にある、「JIS X 0213:2004 対応と新日本語フォント「メイリオ」について」に沿った対応をして頂く必要があります。

使用できるファイルサイズについて

以下のようになります。

USB 接続モード：1 ファイル 4GB まで

LAN 接続モード：1 ファイル 127GB まで

●USB 接続モード時に、フォーマットは行わないでください。

フォーマットする場合は、いったん LAN 接続で接続し、設定画面より行ってください。

USB 接続時にフォーマットをすると LAN 接続モードで使用できなくなります

USB 接続モード、LAN 接続モードでお使いの際のご注意

USB 接続モード、LAN 接続モードの両方で同じフォルダーを使用したい場合は、LAN 接続モードで、ユーザーに対しフォルダーの共有設定を行う必要があります。

LAN 接続モードで保存した 4GB 以上のファイルは、USB 接続モードではフォルダーで表示され、読み出しできません。LAN 接続モードで読み出してください。

ユーザーを変えてアクセスする場合のご注意

共有フォルダーへアクセス後、続けて他のユーザーで共有フォルダーにアクセスすることはできません。他のユーザーでアクセスする場合は、お使いのパソコンをいったんログオフし、再度ログオンする必要があります。

共有フォルダーを設定する

ユーザーを登録する

①アクセスユーザーを確認する

登録するユーザーのネットワークにログオン時の［ユーザー名］と［パスワード］を確認し、メモします。（確認した［ユーザー名］と［パスワード］を、後で設定画面に登録します。）

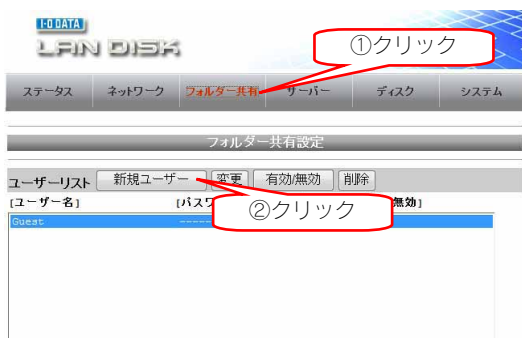
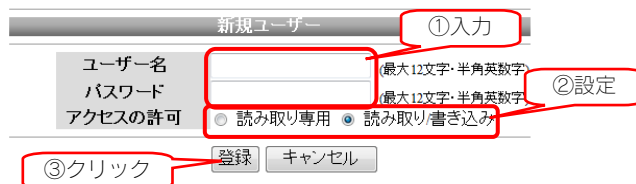
［ユーザー名］［パスワード］を後で設定画面で登録しますが、設定できる文字には、以下の制限があります。
以下をご覧ください。
【文字制限一覧】（64ページ）

②設定画面を開く

本製品の設定画面を開きます。
設定画面の開き方は、【設定画面を開く】（26ページ）をご覧ください。

③本製品にユーザーを登録する

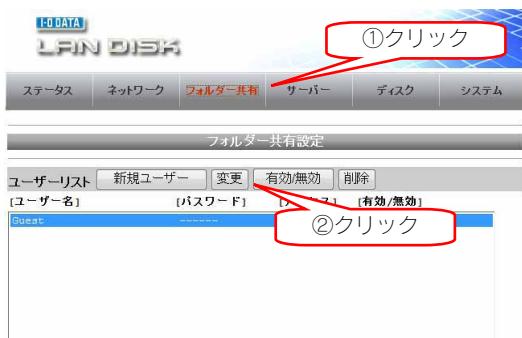
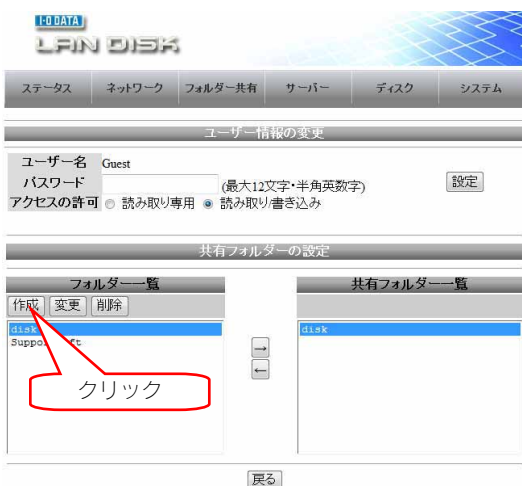
メモした［ユーザー名］と［パスワード］を、本製品の設定画面でユーザーとして登録します。

1 設定画面の[フォルダー共有]タブをクリックし、[新規ユーザー]ボタンをクリックします。

2 ①でメモした［ユーザー名］を［ユーザー名］欄に、［パスワード］を、［パスワード］欄に入力します。
[アクセスの許可]の設定後、[登録]ボタンをクリックします。
→登録したユーザーが、ユーザーリストに追加されます。
※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（64ページ）をご覧ください。

以上で、ユーザーの登録は終了です。
ユーザー登録を行うと同時に、登録したユーザーと同名のフォルダーが自動的に作成されます。また、登録したユーザーの共有フォルダーとしても設定されます。

誰でもフォルダーにアクセスできるようにする設定について

本製品では、ユーザーそれぞれに対してアクセス可能なフォルダーを設定します。
そのため、誰でもアクセスできるようにしたい場合は、登録したすべてのユーザーに対して、アクセスしたいフォルダーを共有設定してください。
詳しくは、【誰でもアクセスできるフォルダーを作りたい】(84ページ)をご覧ください。

フォルダーを作成する

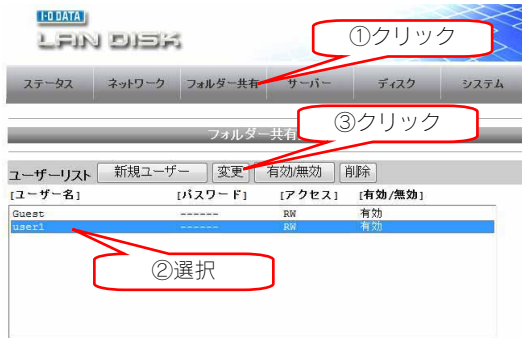
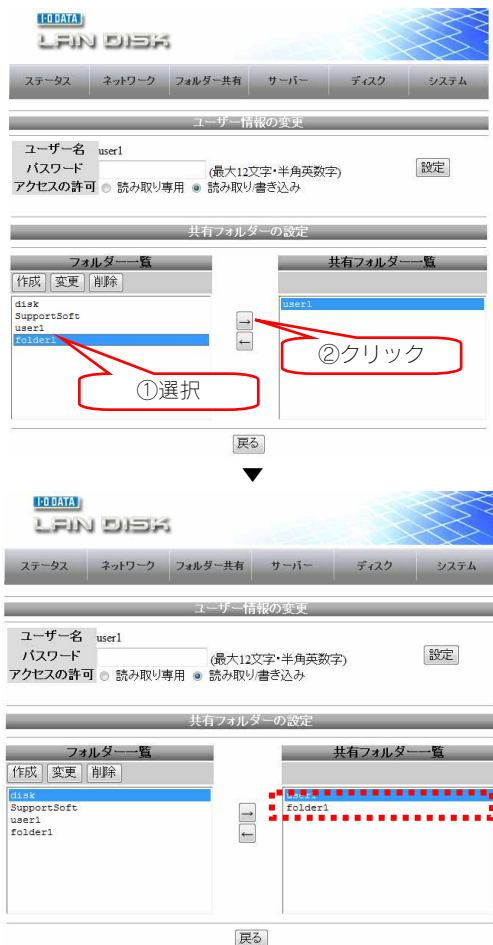
1 設定画面の[フォルダー共有]タブをクリックし、[変更]ボタンをクリックします。

2 [共有フォルダーの設定]の[作成]ボタンをクリックします。

3 作成するフォルダー名を入力後、[作成]ボタンをクリックします。
→作成したフォルダーが[フォルダー一覧]に追加されます。
※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（64ページ）をご覧ください。

以上で、フォルダーの作成は終了です。

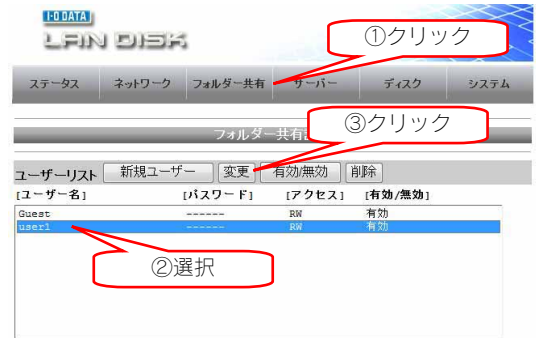
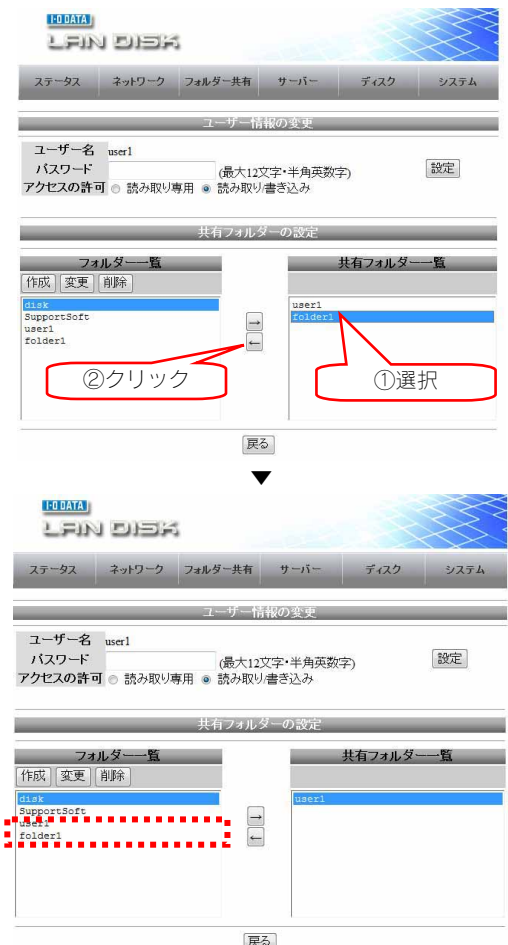
フォルダーの共有を設定（解除）する

画面は、ユーザー「user1」に対して、「folder1」というフォルダーを共有設定(解除)する場合の例です。

●共有フォルダーを設定する

1 設定画面の[フォルダー共有]タブをクリックし、ユーザーリストよりフォルダーの共有設定をしたいユーザーを選択し、[変更]ボタンをクリックします。

2 [フォルダー一覧]より共有したいフォルダーを選択し、[→]ボタンをクリックします。
手順 1 で選択したユーザーに対し、[共有フォルダー一覧]へフォルダーが追加されます。

以上で、フォルダー共有設定は終了です。

●共有フォルダーを解除する

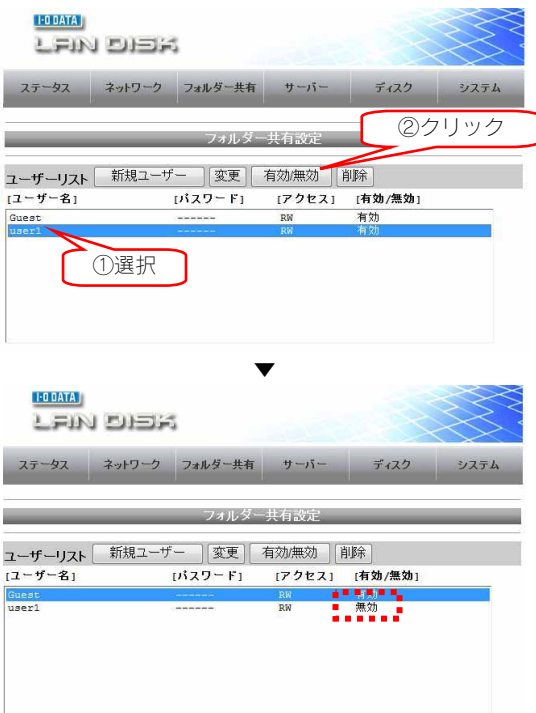
1 設定画面の[フォルダー共有]タブをクリックし、ユーザーリストより共有フォルダー解除したいユーザーを選択し、[変更]ボタンをクリックします。

2 [共有フォルダー一覧]より、共有設定を解除するフォルダーを選択し、[←]ボタンをクリックします。
手順 1 で選択したユーザーに対し、[共有フォルダー一覧]よりフォルダーがなくなります。

以上で、フォルダー共有解除は終了です。

ユーザーの設定を変更する

ユーザーを有効/無効にする

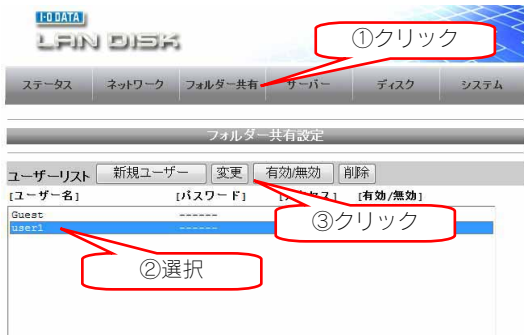
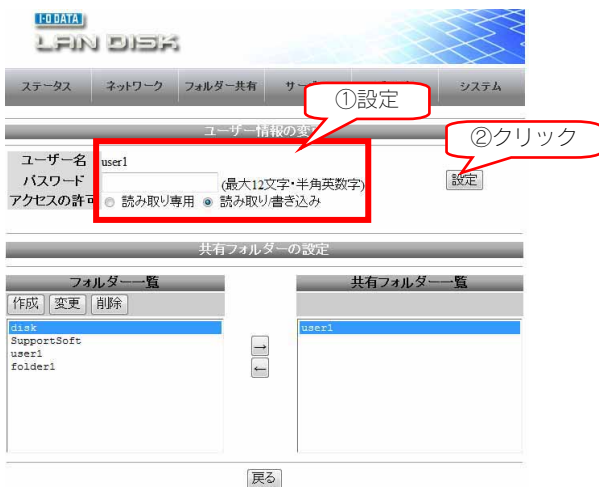
登録したユーザーを有効/無効に切り替えることができます。
画面は、ユーザー「user1」に対して、ユーザーを無効にする場合の例です。

1 設定画面の[フォルダー共有]タブをクリックします。

2 ユーザーリストより変更したいユーザーを選択し、[有効/無効]ボタンをクリックします。
クリックするごとに有効/無効が切り替わります。
※ユーザー登録時の初期値：有効

これで設定は完了です。

ユーザー情報を変更する

登録したユーザーの情報([パスワード]、[アクセスの許可])を変更することができます。
画面は、ユーザー「user1」に対して、ユーザー情報を変更する場合の例です。

1 設定画面の[フォルダー共有]タブをクリックします。
ユーザーリストより変更したいユーザーを選択し、[変更]ボタンをクリックします。

2 変更する項目を入力/選択後、[設定]ボタンをクリックします。
※[パスワード]、[アクセスの許可]を同時に変更することもできます。
※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】(64ページ)をご覧ください。

パスワード	パスワードを設定できます。
アクセス	[読み取り専用]、[読み取り書き込み]から選択できます。

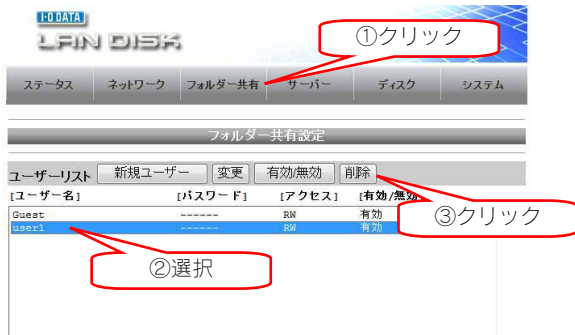
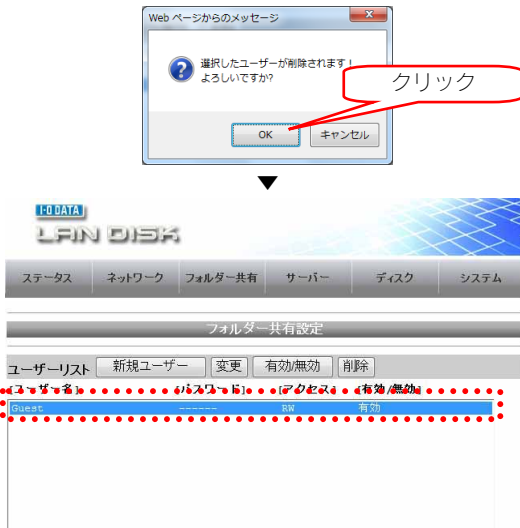
以上で、完了です。

●ユーザー名は変更ができません。
変更する場合は、[フォルダ共有]→[新規ユーザー]で、新しくユーザーを作成してください

ユーザーを削除する

作成したフォルダーを削除することができます。
画面は、ユーザー「user1」に対して、ユーザーを削除する場合の例です。

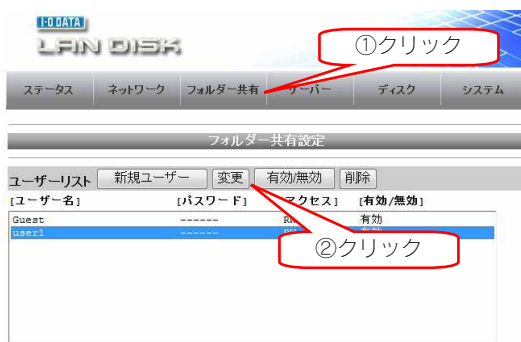
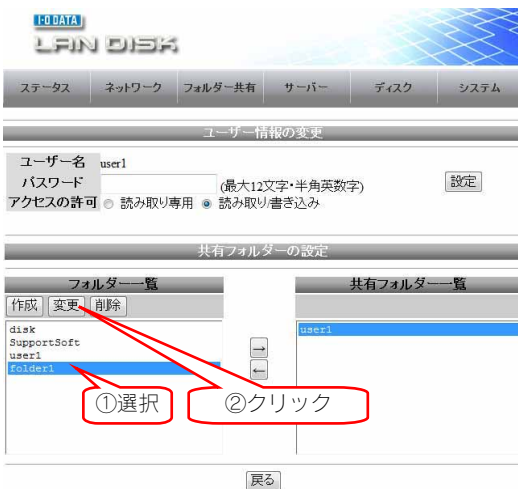
●ユーザー登録時に自動的に作成されるフォルダーは、ユーザーの削除を行ってもフォルダーが削除されることはありません。

1 設定画面の[フォルダー共有]タブをクリックします。
ユーザーリストより、削除したいユーザーを選択し、[削除]ボタンをクリックします。

2 [OK]ボタンをクリックします。

以上で、完了です。

フォルダーの設定を変更する

フォルダー名を変更する

作成したフォルダー名を変更することができます。
画面は、フォルダー「folder1」に対して、フォルダー名を変更する場合の例です。

1 設定画面の[フォルダー共有]タブをクリックし、[変更]ボタンをクリックします。

2 フォルダー一覧より、変更したいフォルダーを選択し、[変更]ボタンをクリックします。

3 新しいフォルダー名を[新しいフォルダー名]欄へ入力後、[設定]ボタンをクリックします。
※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】(64ページ)をご覧ください。

これで設定は完了です。

フォルダーを削除する

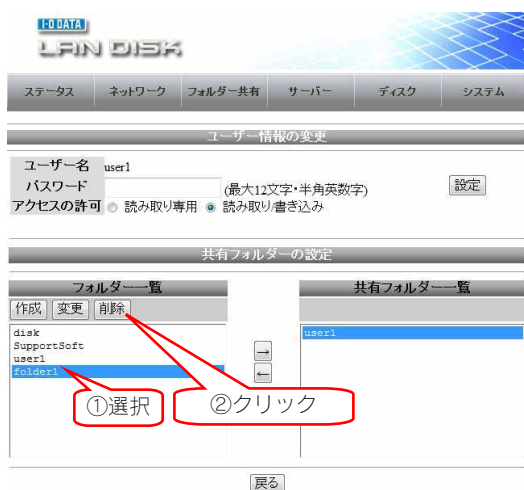
作成したフォルダーを削除することができます。
画面は、フォルダー「folder1」を削除する場合の例です。

●フォルダーを削除すると、フォルダーの中のデータも同時に削除されます。必要なデータはあらかじめバックアップしてください。
●削除しようとしているフォルダー内のファイルを編集など使用している場合、削除後、以下のような保存先が見つからないなどのエラーとなります。
削除前に、削除するフォルダーにアクセスしているユーザーがいないかご確認ください。

1 設定画面の[フォルダー共有]タブをクリックし、[変更]ボタンをクリックします。

2 フォルダー一覧より、削除したいフォルダーを選択し、[削除]ボタンをクリックします。

3 以下のメッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。

以上で、完了です。

iTunesサーバー機能を利用する

iTunes サーバー

本製品を iTunes サーバーとして使用する場合の注意

本製品のiTunesサーバー機能で公開した音楽ファイルは、iTunesをインストール済みのネットワーク接続されたパソコン上で再生することができます。本製品のiTunesサーバー機能を利用するには、iTunes10以降が必要です。
iTunesはapple社のホームページ（http://www.apple.com/jp/itunes/download/）より入手することができます。

ご利用になる前に、以下をご確認ください。

●本製品で公開できるファイルフォーマットは次ページをご覧ください。

●本製品は工場出荷時状態で、iTunes サーバー機能が無効となっています。本機能を利用する場合は、iTunes サーバーのサーバー機能は有効に設定してください。

●公開しているフォルダー内のファイル数は、合計 1 万ファイル以内でご利用ください。

●公開しているフォルダー内にファイルの追加･移動･削除を行った場合、最新状態を iTunes に反映するには、プレイリストの更新操作が必要です。プレイリストの更新中は、iTunes から再生できません。

●公開しているフォルダー内のファイル数が多い場合には、iTunes からの接続に時間がかかる場合があります。

●iTunes 再生中に本製品上の再生中のファイルや、ファイルのある共有フォルダーを削除したり移動させたりしないでください。

●同時再生を行ったり、再生中にパソコンから本製品へファイルコピーなどの操作をした場合やバックアップ処理などが起動している場合、再生するファイルによっては動画がコマ落ちしたり、音とびしたりすることがあります。

●MP3 の ID3 タグ情報の文字は、UTF-16 のエンコーディングに対応しています。
UTF-16 以外の形式でエンコードされた ID3 タグ情報は、iTunes 上で曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報が文字化けして見える場合があります。

●本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
故障や万一に備えて定期的にデータをバックアップしてください。

●弊社修理センターでは、本製品が故障した場合のデータ復旧は行っておりません。

iTunes サーバーで公開できるファイルフォーマット

本製品は以下のファイル拡張子のファイルのみ可能です。

種類	ファイル拡張子
音楽	mp3　m4a　wav

※ファイルによっては、上記ファイル拡張子でも再生できない場合もあります。

iTunes から再生できるようにする

ここでは、iTunes から本製品内の音楽ファイルを再生できるようにする手順について説明します。

ステップ１　サーバー機能を設定する

iTunes サーバー機能を有効にします。

1 設定画面の[サーバー]タブをクリックします。

2 サーバー機能の[有効/無効]ボタンをクリックし、[有効]に設定します。クリックするごとに有効/無効が切り替わります。
※出荷時設定：無効

次にステップ２へお進みください。

ステップ２　公開フォルダーを設定する

iTunes で公開するフォルダーを設定します。

1 公開フォルダーのプルダウンボタンから、公開するフォルダーを選択し、[設定]ボタンをクリックします。

次にステップ３へお進みください。

公開フォルダーを新規に作成する場合

[フォルダー共有]タブから作成します。
詳しくは、【フォルダーを作成する】(32ページ)をご覧ください。

ステップ３　プレイリストを更新する

iTunes サーバーのプレイリストを更新します。

1	プレイリストの[更新]ボタンをクリックします。 →公開フォルダー内の音楽ファイル件数がプレイリストに表示されます。 ※公開フォルダーとして設定したフォルダーのファイルの追加・移動・削除などを行った後は、プレイリストの更新を行う必要があります。

●公開フォルダーとして設定したフォルダーのファイルの追加・移動・削除などを行った後は、プレイリストの更新を行う必要があります。

以上で、本製品に認識された音楽ファイルが iTunes で共有することができました。
次にステップ４へお進みください。

iTunes 公開フォルダーに音楽ファイルを追加する場合

ステップ 2 で公開フォルダーに設定した共有フォルダーに音楽ファイルを追加します。

① 【ネットワークから本製品にアクセスする】（14ページ）の手順で表示された公開フォルダーに音楽ファイルをドラッグ＆ドロップします。
EasySetup を使用せず、Magical Finder で設定した場合は、【2台目以降のパソコンから本製品にアクセスする】（21ページ）の手順を参考にしてください。

②プレイリストを更新します。

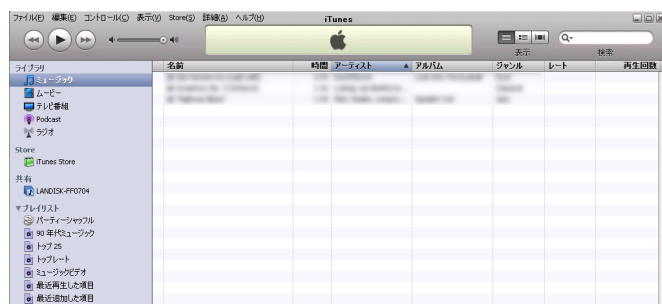
ステップ４　iTunes からアクセスする

以下はアクセス手順の例です。

●iTunes で本製品が表示されない
●iTunes に表示されない、あるいは、再生できないファイルがある
→【iTunes に表示されない、あるいは、再生できないファイルがある】（95ページ）をご覧ください。

1	本製品と同じネットワークに接続されたパソコンの iTunes を起動します。

2	iTunes が起動すると、自動的に本製品の LANDISK の名前が iTunes の共有に表示されていることを確認します。 本製品の名前を変更している場合は、変更した名前が表示されます。

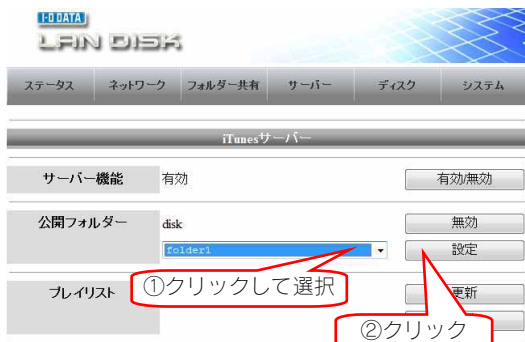
3	iTunes に表示された LANDISK の名前をクリックすると、本製品の iTunes サーバー機能で公開されている音楽ファイルが表示されます。

曲名をダブルクリックするとパソコンで音楽ファイルを再生します。

公開するフォルダーの再設定・無効にする

iTunes からの本製品内のデータの参照は、フォルダー単位での設定で行います。
ここでは、公開フォルダーの再設定をしたり、逆にフォルダーの公開を無効にする手順について説明します。

公開フォルダーを再設定する

1 設定画面の[サーバー]タブをクリックします。

2 公開フォルダーのプルダウンボタンから公開するフォルダーを選択し、[設定]ボタンをクリックします。

3 プレイリストの[更新]ボタンをクリックします。
→再設定した公開フォルダー内の音楽ファイル件数が、プレイリストに表示されます。

公開フォルダーを無効にする

1 設定画面の[サーバー]タブをクリックします。

2 公開フォルダーの[無効]ボタンをクリックします。
→無効に切り替わります。

バックアップする

データのバックアップについて

万一に備えて定期的にデータはバックアップすることをおすすめします。
本製品では、以下のソフトウェアでバックアップを行うことができます。
ソフトウェアは、弊社ホームページからダウンロードできます。（http://www.iodata.jp/kaiteki）

Sync with	Sync with は、パソコンのフォルダと本製品上のフォルダの内容を比較し、更新されたファイルを自動的にコピーします。簡単な操作でパソコンのフォルダと本製品上のフォルダの内容を同一に保つことができるソフトウェアです。パソコンにインストールして使用します。
EasySaver 3 LE	EasySaver 3 LE は、パソコンのデータを本製品にバックアップしたり、逆に本製品のデータをパソコンにバックアップすることができるソフトウェアです。パソコンにインストールして使用します。

Sync with の注意

●同期するドライブに十分な容量の空きが必要です。
●同一のフォルダは指定できません。
●下位のフォルダとの同期はできません。
●OS が使用しているフォルダーは、同期できないものもあります。
●アクセス権がないものや、ロックやライトプロテクトされているフォルダー・CD-ROM・MO などは同期できません。
●実行中・使用中のファイルの同期はできません。
●隠しファイル(隠しフォルダー)はフォルダーの設定にて「隠しファイルを表示する」となっていた時のみ同期できます。
●Windows 標準の文字コードを使用していないフォルダーやファイルは、設定・同期できません。

EasySaver 3 LE の注意

●EasySaver 3 LE を使用してバックアップする場合、バックアップ元（先）に使用する本製品を事前にネットワークドライブに割り当てておく必要があります。
【（Windows）ネットワークドライブの割り当て方法がわからない】（100ページ）

ハードディスク
をチェックする

ハードディスクのチェック方法

ここでは、本製品のハードディスクの状態をチェックする方法について説明します。
本製品のチェックディスクは、USB 接続モード時のみ行えます。
本製品のチェックディスクは、Windows の「チェックディスク機能」でチェックします。
チェックディスクは、ファイルシステムに論理的な障害が発生していないか検査し、修復を行います。

チェックディスク中は本製品をパソコンから取り外さないでください。

●[チェックディスク]でチェックする

1. 本製品を USB 接続でパソコンに接続します。
2. [スタート]→[マイコンピュータ]をクリックします。
3. [HDL-C]のアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
4. [ツール]タブの[チェックする]をクリックします。
   チェックディスク画面が表示されます。
5. 必要に応じてオプションにチェックを入れ、[開始]をクリックします。

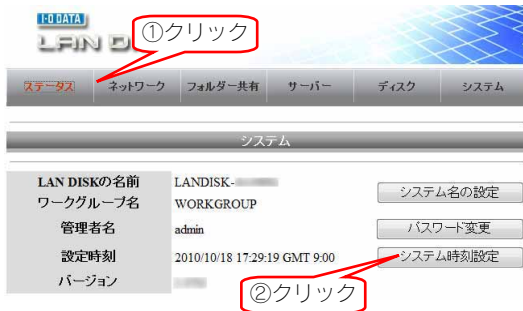
注意
●チェックディスクを中断することはできません。
●オプションにチェックを入れなくてもチェックディスクは実行できます。

以上でハードディスクのチェックは終了です。

システムを管理する

時刻設定を行う

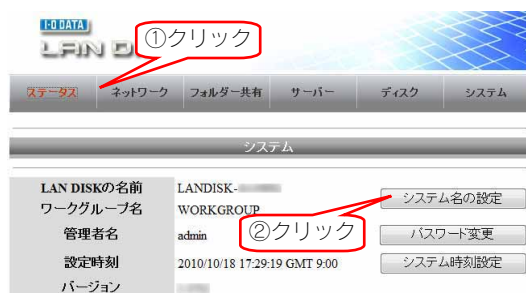
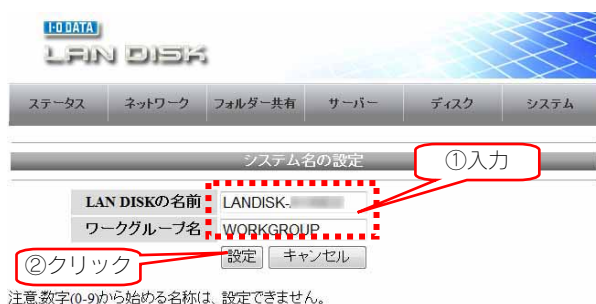
システムの時刻設定を行います。

1	設定画面の[ステータス]タブをクリックし、システムの[システム時刻設定]ボタンをクリックします。

2	設定時刻、サーバーと同期などの設定を行います。 ※LAN 接続モードでご使用の場合は、本製品の時刻を正しく合わせておく必要があります。インターネットに接続可能な環境で、起動時にサーバーと同期する設定でのご使用をおすすめします。 また、パソコンの時刻が正しくない場合、本製品の時刻も同様にずれが生じます。[PC の時刻を設定]にする際には、パソコンの時刻も合わせてご確認ください。

以上で時刻の設定は終了です。

システム名を変更する

本製品の名前を変更したり、ワークグループ名を変更することができます。

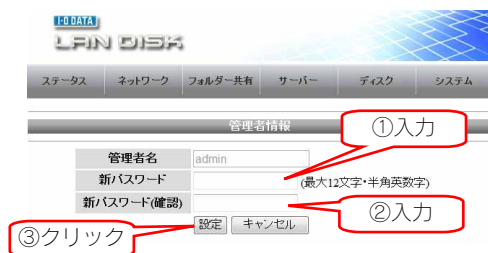
1	設定画面の[ステータス]タブをクリックし、システムの[システム名の設定]ボタンをクリックします。

2	変更する項目のを入力後、[設定]ボタンをクリックします。 ※他の LAN DISK と重複しない名前にしてください。 ※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（64ページ）を参照してください。

以上で設定は終了です。

管理者パスワードを変更する

ここでは、管理者(admin)用の本製品設定時のパスワードの設定手順について説明します。
管理者は本製品の設定できる権限を持っています。
※管理者パスワードは以下の場合に使用します。
・本製品の設定画面を開く場合
・「Magical Finder」から「IP 設定」画面を開く場合

●パスワードは忘れないようしっかり管理してください。
設定したパスワードを忘れた場合、確認する方法はありません。
設定したパスワードを忘れてしまった場合には、本製品背面の［RESET］ボタンでリセットしないと使用できなくなります。
【IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】（57ページ）参照
●出荷時、パスワードは設定されていません。

1 設定画面の[ステータス]タブをクリックし、システムの[パスワード変更]ボタンをクリックします。

2 管理者の新しいパスワードを[新パスワード]欄に入力します。
確認のため、再度パスワードを[新パスワード(確認)]欄へ入力し、[設定]ボタンをクリックします。
※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（64ページ）を参照してください。

以上で管理者用パスワードの設定は終了です。

TCP/IP 設定を行う

本製品の IP アドレスを、ルーターなどの DHCP サーバーから「自動で取得する」または「手動で取得する」か選択できます。
初期値：自動で取得する(DHCP 有効)

1 設定画面の[ネットワーク]タブをクリックします。

2 IP アドレスの取得方法を選択し、[設定]ボタンをクリックします。
手動で取得する(DHCP 無効)を選んだ場合は、各項目を入力してください。

以上で設定は完了です。

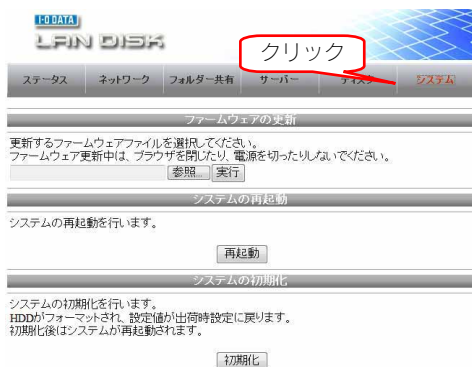
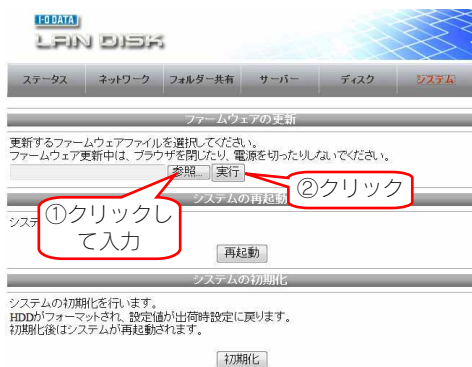
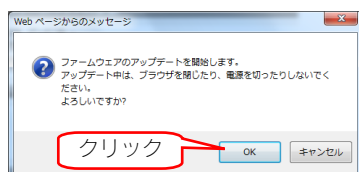
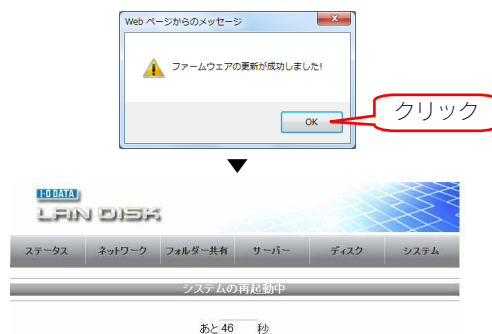
ファームウェアを更新する

ファームウェアは弊社ホームページよりダウンロードできます。

http://www.iodata.jp/lib

ファームウェアの更新（アップデート）には、新しい機能の追加のほかにも装置の修正など、重要な更新が含まれます。
定期的に弊社サポート・ライブラリ（http://www.iodata.jp/lib）を確認し、最新のファームウェアで本製品をご利用ください。

ここでは、ファームウェアの更新手順について説明します。

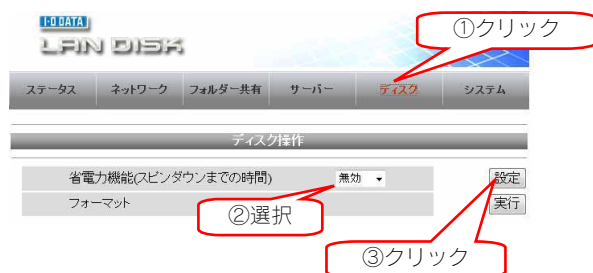
1 設定画面の[システム]タブをクリックします。

2 ファームウェアの更新の[参照]ボタンをクリックして、ダウンロードしたファームウェアのファイル名(update.tgz)を設定し、［実行］ボタンをクリックします。

3 [OK]ボタンをクリックします。
ファームウェアの更新が行われます。しばらくお待ちください。

4 ファームウェアの更新終了後、以下の画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。
本製品が自動的に再起動します。しばらくお待ちください。

以上でファームウェアの更新（アップデート）は終了です。

注意

- ファームウェアを更新する際は、パソコンのファイアーウォールの設定を解除してください。
  解除されていないと、正常に更新できない場合があります。
- ファームウェアの更新中は本製品の電源を切らないでください。更新中に電源を切ると、本製品を破損する恐れがあります。
- ファームウェアの更新後、本製品は自動的に再起動します。
  再起動完了後、[STATUS]ランプが緑点灯します。
  [STATUS]ランプが緑点灯かつ赤点滅している場合は、IP アドレス設定に問題がありますので、再度設定が必要です。
  DHCP サーバーがあるのに、[STATUS]ランプが緑点灯かつ赤点滅している場合には、以下をご覧ください。
  【困ったときには】の81ページ
- 完全にファームウェアを更新するために、本製品にアクセスしているユーザーがいないことを確認するか、パソコンと本製品を 1 対 1 で接続して実行してください。
- ファームウェアを更新後、設定画面が変更される場合がありますので、ブラウザーのキャッシュのクリアを行ってください。

省電力機能を使う

ここでは、ハードディスクの省電力機能の設定について説明します。
ハードディスクを省電力設定にすることにより、一定時間アクセスがなければ内蔵ハードディスクの回転を停止します。
これにより電力消費を抑えることができます。

1	設定画面の[ディスク]タブをクリックします。 設定したい時間を選択し、[設定]ボタンをクリックします。

▼省電力機能	
	一定時間、本製品にアクセスがない場合に、ハードディスクの動作を停止させる機能です。この停止までの時間を変更できます。（初期値は「無効」です。）

●設定時間内にハードディスクにアクセスしなくても、本製品のシステムがハードディスクにアクセスした場合は、ハードディスクは停止しません。
また、ハードディスク停止中に本製品にアクセスしていなくても、本製品のシステムがハードディスクにアクセスした場合は、ハードディスクが回転する場合があります。

以上でハードディスクの省電力機能の設定は終了です。

出荷時設定に戻す

出荷時設定への戻し方

次のような場合、設定を出荷時設定（初期設定）に戻してください。

・本製品の IP アドレスがわからなくなった場合
・管理者の情報（［パスワード］など）がわからなくなった場合

本製品の出荷時設定への戻し方

本製品の出荷時設定への戻し方には 2 通りの方法があります。

●方法 1：IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す

→手順については【IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】（次ページ）参照

本製品背面の［RESET］ボタンで初期化します。
万一本製品に設定した IP アドレスを忘れた場合や本製品設定時の管理者パスワードを忘れてしまった場合に行います。

初期化される項目は下記の 2 つのみです。

IP アドレス	［DHCP クライアント］設定を［on］にします。 IP アドレスを設定していた場合は、最初から設定し直す必要があります。
管理者パスワード	「なし」に設定します。 管理者パスワードを設定していた場合は、最初から設定し直す必要があります。

●上記以外のすべての設定情報は変更されません。
●ハードディスク内のデータは残ります。（消去されません。）

●方法 2：本製品のすべての設定を出荷時状態に戻す

→手順については【本製品のすべての設定を出荷時設定に戻す】（58ページ）参照

設定画面の[システム初期化]で本製品のすべての設定を初期化します。
※HDL-C500 の場合で約 2 分かかります。（時間は本製品の容量によって変化します。）

●事前にハードディスク内のデータをバックアップしてください。
※USB 接続モード時に保存したデータも消去されます。

方法１

IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す

本製品背面の［RESET］ボタンで IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す（初期化する）ことができます。
万一本製品に設定した IP アドレスを忘れた場合や本製品設定時の管理者パスワードを忘れてしまった場合に行います。

●初期化項目

初期化される項目は下記の 2 つのみです。

※他の設定は初期化されません。

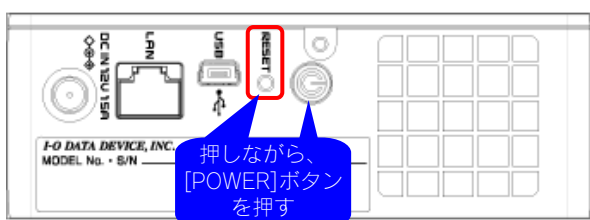
IP アドレス	［DHCP クライアント］設定を［on］になります。 IP アドレスを設定していた場合は、最初から設定し直す必要があります。
管理者パスワード	「なし」に設定されます。 管理者パスワードを設定していた場合は、最初から設定し直す必要があります。

●初期化処理中は、本製品の電源を切らないでください。
●ハードディスク内のデータは残ります。（消去されません。）
●ネットワークに接続したまま行うことができます。

1 本製品の電源が切れていること（［STATUS］ランプが消灯していること）を確認します。
電源が入っている場合は、電源を切ります。

●初期化は、本製品の電源が切れている状態で行います。

2 背面の[RESET]ボタンを先の細いもので押しながら、[POWER]ボタンを押します。
[STATUS]ランプが点灯したら、[POWER]ボタンから手を離し、[RESET]ボタンは押したままにしてください。

▼

3 [STATUS]ランプが緑点灯(DHCP サーバーがある場合)、または、緑点灯かつ赤点滅(DHCP サーバーがない場合)すれば、初期化完了です。
[RESET]ボタンから手を離してください。

IP アドレスと管理者パスワードが初期値となりますので、再度設定をやり直してください。

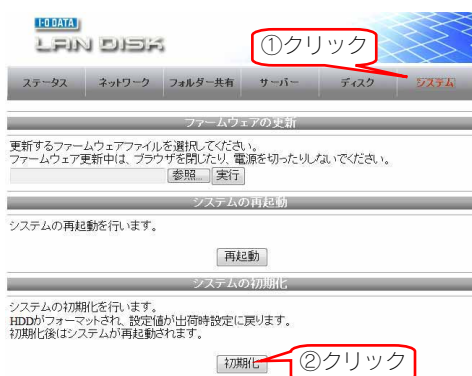
方法2

本製品のすべての設定を出荷時設定に戻す

設定画面の[システムの初期化]で本製品のすべての設定を出荷時設定に戻します。

●初期化される項目は下記の項目です。
・すべての装置設定

●事前にハードディスク内のデータをバックアップしてください。
USB 接続モード時に保存したデータも消去されます。

1 本製品の設定画面の[システム]タブをクリックし、システムの初期化の[初期化]ボタンをクリックします。

2 以下のメッセージが表示されます。
[OK]ボタンをクリックします。
※初期化後は、自動で再起動が行われます。

●システム初期化処理中に電源を切ると、本製品が正常に起動しなくなります。
［STATUS］ランプが緑点灯、または、緑点灯かつ赤点滅状態になるまで、何も操作しないでください。

すべての設定が初期値となりますので、出荷時に本製品に保存されていたサポートソフト（EasySetup、Magical Fainder）が削除されます。
そのため、新たに再設定する場合は、サポートソフトを弊社サポート・ライブラリ（http://www.iodata.jp/lib）よりダウンロードして設定してください。

仕　　様

仕　様

インターフェイス（LAN）	転送規格	IEEE802.3ab、IEEE802.3u、IEEE 802.3 (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T)
	最大転送速度	1000/100/10Mbps
	コネクター	RJ-45×1
	アクセス方法	CSMA/CD
	MDI/MDI-X	自動切換
	適合ケーブル	UTP カテゴリ６以上、100m 以下
インターフェイス（USB）	転送規格	USB 2.0(1.1 含む)
	最大転送速度	480Mbps
	コネクター	USB miniB コネクター×1
電源仕様	電源	AC アダプター
	定格電圧	AC 100V、50/60Hz
	消費電力	LAN 接続時 15W(TYP)/USB 接続時 13W(TYP)
動作環境	使用温湿度	5～35℃、20～80%(結露無きこと)
物理仕様	外形寸法	約 42(W)×195(D)×120(H)mm
	質量	約 960g
設置	設置方向	縦、横
対応規格	EMC	VCCI ClassA
	環境	RoHS 指令準拠

動作環境

本製品は、「LAN インターフェイス及び USB ポートを搭載し、TCP/IP が正常に動作するパソコン」であれば対応しています。

サポート対象機種・OS

LAN 環境、USB ポートに関しての詳細は、【使用上のご注意】（5～7 ページ）をご覧ください。

機種	OS
DOS/V マシン	・Windows® 7（32 ビット版/64 ビット版） ・Windows Vista®（32 ビット版/64 ビット版） ・Windows® XP（32 ビット版）

弊社では、上記の OS でご利用いただく場合のみをサポート範囲とさせていただいております。
上記以外の OS でご利用いただく場合のサポートは行っておりませんのでご了承ください。

設定に必要なソフトウェア

本製品を設定するには、以下のバージョンの Web ブラウザーが必要です。お持ちで無い場合は、別途ご用意ください。

・Internet Explorer バージョン 6.0 以上

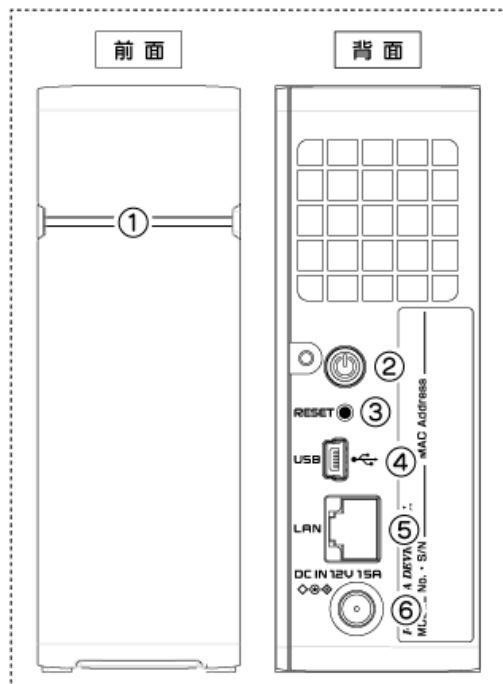
使用できるファイルサイズについて

USB 接続モード：1 ファイル 4GB まで

LAN 接続モード：1 ファイル 127GB まで

※【USB 接続モード、LAN 接続モードでお使いの際の注意】（30ページ）をご覧ください。

●USB 接続モード時に、フォーマットは行わないでください。
フォーマットする場合は、いったん LAN 接続で接続し、設定画面より行ってください。
USB 接続時にフォーマットをすると LAN 接続モードで使用できなくなります

各部の名称・機能

	名称	機能・状態		
①	[STATUS]ランプ	緑	赤	
		消灯	消灯	電源 OFF
		点灯	点灯	起動処理中
		点灯	消灯	正常動作中
		点滅	点滅	シャットダウン処理中
		点灯	点滅	DHCP 取得エラー
		消灯	点灯	エラー発生
②	[POWER]ボタン	本製品の電源を入/切します。		
③	[RESET]ボタン	本製品の LAN 接続モードの設定を初期化します。 ※LAN 接続モード時のみ動作します。(USB 接続モード時は動作しません。)		
④	USB ポート	添付の USB ケーブルを接続します。 ※本製品とパソコンを USB で接続し、USB ハードディスクとして使用できます。		
⑤	LAN ポート	添付の LAN ケーブルを接続します。		
⑥	DC ジャック	添付の AC アダプターを接続します。		

出荷時設定一覧

項目		初期値
◆ステータス		
システム	LAN DISKの名前	LANDISK-xxxxxx（xxxxxxはMACアドレスの下6桁）
	ワークグループ名	WORKGROUP
	管理者名	admin
	設定時刻	手動設定
ネットワーク	MACアドレス	00:a0:b0:xx:xx:xx（製品ごとに異なる）
◆ネットワーク		
TCP/IP設定	自動取得する（DHCP有効）/手動で設定する(DHCP無効)	自動で取得する（DHCP有効）
	IPアドレス(自動取得失敗時)	192.168.0.200
◆フォルダー共有		
ユーザーリスト	登録済みユーザー	guest
	パスワード	なし
	アクセスの許可	読み取り/書き込み
	ユーザーの有効/無効	有効
◆サーバー		
iTunesサーバー	サーバー機能	無効
	公開フォルダー	<無効>
	プレイリスト	見つかりませんでした
◆ディスク		
ディスク操作	省電力機能(スピンダウンまでの時間)	無効

文字制限一覧

設定画面上で使用できる文字/できない文字

本製品の設定画面で設定する各項目には、使用文字の制限があります。

次の文字はそれぞれの項目に対して使用できません。

項目名	半角/全角	文字数	使用できる文字
LAN DISK の名前	半角	15 文字以下	0-9, A-Z, a-z, - (数字(0-9)で始まる文字列は不可)
ワークグループ名	半角	15 文字以下	0-9, A-Z, a-z, - (数字(0-9)で始まる文字列は不可)
ユーザー名	半角	12 文字以下	0-9, A-Z, a-z _ - =
共有フォルダー名	半角	12 文字以下	0-9, A-Z, a-z _ - =
パスワード	半角	0～12 文字	0-9, A-Z, a-z _ - = ; : < = > ? @

ファイル名やフォルダー名の文字制限

本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、OS により以下の文字数までとなっています。

半角 255 文字（全角 85 文字）まで

※使用する文字種によっては上記の数値よりも少なくなる場合があります。

※Windows 7、Vista では従来の Windows と比較し、扱える文字数が増えています。

よって Windows 7、Vista でのみ使用可能な文字を共有フォルダーに保存するファイル名やフォルダー名に使用した場合、従来の Windows で参照すると文字が正しく表示されない場合があります。

Windows 7、Vista と従来の Windows との間で文字表示について問題が発生しないようにするには Micorosoft 社の公開情報 (http://www.microsoft.com/japan/windows/products/windowsvista/jp_font/default.mspx)にある、「JIS X 0213:2004 対応と新日本語フォント「メイリオ」について」に沿った対応をして頂く必要があります。

設定画面の
リファレンス

[ステータス]

項目	設定する内容	出荷時設定
システム		
LAN DISKの名前	ネットワーク上で表示される名前を表示します。	LANDISK-xxxxxx（xxxxxxはMACアドレスの下6桁）
ワークグループ名	ワークグループ名を表示します。	WORKGROUP
管理者名	管理者のユーザー名を表示します。	admin
設定時刻	システムの時刻を表示します。	手動設定
バージョン	システムのファームウェアバージョンを表示します。	-
ネットワーク		
IPアドレス	本製品のIPアドレスを表示します。	192.168.0.200
MACアドレス	本製品のMACアドレスを表示します。	00:a0:b0:xx:xx:xx（製品ごとに異なる）
ディスク		
ディスク情報	ディスク情報を表示します。	製品ごとに異なる
空き	ディスクの空き容量を表示します。	-
全体	ディスクの総容量を表示します。	-

[システム名の設定]

項目	設定する内容	出荷時設定
LAN DISKの名前	ネットワーク上で表示される名前を入力します。	LANDISK-xxxxxx（xxxxxxはMACアドレスの下6桁）
ワークグループ名	ワークグループ名をを入力します。	WORKGROUP

［パスワード変更］

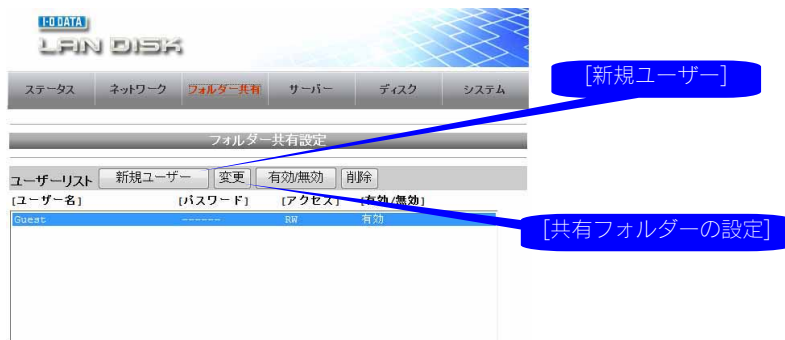
項目	設定する内容	出荷時設定
管理者名	管理者のユーザー名を表示します。 ※管理者のユーザー名[admin]は、変更することはできません。	admin(パスワード：なし)
新パスワード	管理者の新しいパスワードを入力します。 ※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（64ページ）をご覧ください。	–
新パスワード（確認）	確認のため再度新しいパスワードを入力します。 ※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（64ページ）をご覧ください。	–

［システム時刻設定］

項目	設定する内容	出荷時設定
設定時刻	本製品に設定する時刻を入力できます。	手動設定
[PCの時刻を設定]ボタン	パソコンと同じ時刻を設定します。	手動設定
サーバーと同期	タイムサーバーを使用する場合に選択します。タイムサーバーの設定を実行すると、そのタイミングでいったんタイムサーバー時刻を本製品に設定します。 ※インターネット接続環境が必要です。	同期する
タイムサーバー	タイムサーバー名かタイムサーバーのIPアドレスを入力します。通常は初期設定のタイムサーバーをお使いください。	ntp.nict.jp
タイムゾーン	変更できません。	GMT+9

［ネットワーク］

項目	設定する内容		出荷時設定
[TCP/IP設定]			
DHCP有効/無効	本製品のIPアドレスを、ルータなどのDHCPサーバーから自動取得する場合に選択します。 →DHCPサーバーからの自動取得に失敗した場合、本製品は「192.168.0.200」の固定アドレスが自動的に設定されますので、設定変更などの際にはこれらのアドレスで通信してください。このとき、［STATUS］ランプは緑点灯かつ赤点滅します。[手動で設定するDHCP無効）]にした場合は、以下を設定します。		自動で取得する（DHCP有効）
	IPアドレス	本製品に設定するIPアドレスを入力します。	−
	サブネットマスク	本製品に設定するサブネットマスクを入力します。	−
	ゲートウェイ	本製品が接続されているネットワークのデフォルトゲートウェイを入力します。一般にインターネットと接続しているルータのIPアドレスを入力します。	0.0.0.0
	DNSサーバー（プライマリー）	本製品が所属しているネットワークのDNSサーバーアドレス（プライマリー）を入力します。	127.0.0.1
	DNSサーバー（セカンダリー）	本製品が所属しているネットワークのDNSサーバーアドレスセカンダリー）を入力します。	0.0.0.0

［フォルダー共有］

項目		設定する内容	出荷時設定
[フォルダー共有設定]			
ユーザーリスト		登録したユーザーの情報を表示します。	–
	ユーザー名	ユーザー名を表示します。	guest
	パスワード	ユーザーのパスワードです。（*******や-------などで表示されます。）	（なし）
	アクセス	アクセスの許可の状況を表示します。 （RO：読み取り専用　RW：読み取り/書き込み）	読み取り/書き込み
	有効/無効	ユーザーの有効/無効を表示します。	有効

［新規ユーザー］

新規ユーザー

ユーザー名	(最大12文字･半角英数字)
パスワード	(最大12文字･半角英数字)
アクセスの許可	○ 読み取り専用　◉ 読み取り/書き込み

登録　キャンセル

項目	設定する内容	出荷時設定
ユーザー名	ユーザー名を入力します。 ※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（64ページ）をご覧ください。	–
パスワード	パスワードを入力します。 ※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（64ページ）をご覧ください。	–
アクセスの許可	アクセスの許可を設定します。 ・読み取り専用 ・読み取り/書き込み	読み取り/書き込み

［共有フォルダーの設定］

項目	設定する内容	出荷時設定
ユーザー情報の変更		
ユーザー名	ユーザー情報を変更するユーザー名を表示します。	－
パスワード	変更するパスワードを入力します。 ※使用できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（64ページ）をご覧ください。	－
アクセスの許可	登録したアクセスの許可を設定します。 ・読み取り専用 ・読み取り/書き込み	－
[設定]ボタン	ユーザー情報の変更を設定します。	－
共有フォルダーの設定		
[作成]ボタン	フォルダーを作成します。 フォルダーの作成 フォルダー名 (最大12文字・半角英数字) 作成　キャンセル	－
[変更]ボタン	設定したフォルダー名を変更します。 フォルダー名の変更 現在のフォルダー名 folder1 新しいフォルダー名 (最大12文字・半角英数字) 設定　キャンセル	－
[削除]ボタン	設定したフォルダーを削除します。	－
フォルダー一覧	設定したフォルダーを表示します。	共有フォルダー一覧(作成済み共有)：disk Microsoftネットワーク共有
共有フォルダー一覧	ユーザー情報の変更に表示されたユーザーに対し、共有フォルダーを表示します。	－
[→]ボタン	フォルダーを、共有フォルダーとして設定します。	－
[←]ボタン	共有フォルダーとしての設定を解除します。	－

[サーバー]

項目	設定する内容	出荷時設定
[iTunesサーバー]		
サーバー機能	iTunesサーバー機能の有効/無効を設定します。	無効
公開フォルダー	iTunesで公開するフォルダーを設定します。	<無効> disk
プレイリスト	iTunesサーバー上のファイルをプレイリストに反映します。反映されたプレイリストの音楽ファイル件数が表示されます。	見つかりませんでした

[ディスク]

項目	設定する内容	出荷時設定
[ディスク操作]		
省電力機能(スピンダウンまでの時間)	一定時間、本製品にアクセスがない場合にハードディスクの動作を停止させる機能です。 ※設定した時間内にハードディスクにアクセスしなくても本製品のシステムがハードディスクにアクセスした場合は、ハードディスクの動作は停止しません。	無効
フォーマット	［実行］ボタンをクリックすると、内蔵ハードディスクをフォーマットします。 ハードディスク内に必要なデータがある場合は、必ずフォーマット前に、データをバックアップしてください。 すべての設定が初期値となりますので、再度設定をやり直してください。 弊社サポート・ライブラリ（http://www.iodata.jp/lib)より、添付アプリケーションをダウンロードいただくことで、ご利用いただけるようになります。	－

[システム]

項目	設定する内容	出荷時設定
[ファームウェアの更新]		
ファームウェアの更新	ファームウェアの更新を行います。 ファームウェアの更新（アップデート）手順については、以下をご覧ください。 【ファームウェアを更新する】（53ページ） ※ファームウェアの更新（アップデート）には、新しい機能の追加のほかにも装置の修正など、重要な更新が含まれます。 定期的に弊社サポート・ライブラリ（http://www.iodata.jp/lib）を確認し、最新のファームウェアで本製品をご利用ください。	−
[システムの再起動]		
システムの再起動	システムの再起動を行います。	−
[システムの初期化]		
システムの初期化	［初期化］ボタンをクリックすると、すべての項目を本製品の出荷時設定値に戻します。 初期化後は、自動で再起動が行われます。 出荷時設定については、【出荷時設定一覧】（63ページ）をご覧ください。	−

困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

●トラブルの状態と対処

以下のトラブルの状態をクリックしてください。

弊社ホームページの[製品 Q&A]もご覧ください

⇒http://www.iodata.jp/support/product/hdl-c/

サポート Web ページには、最新の情報や過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

◆本製品起動時のトラブル

◆セットアップ時のトラブル（ネットワークへの導入時）

◆本製品へアクセス時のトラブル

◆設定画面に関するトラブル

◆本製品の IP アドレスについて

◆ファイルの保存について

◆iTunes サーバー機能について

◆ランプについて

◆内蔵ハードディスクについて

◆タイムサーバー機能使用時のトラブル

◆パソコンのネットワーク設定について

◆本製品起動時のトラブル

本製品の電源を入れると、[STATUS]ランプが緑点灯かつ赤点滅している

原因	DHCP サーバーから本製品の IP アドレスを取得できていない。 ※本製品の IP アドレスの設定が、自動取得(出荷時設定)に設定されている場合で、接続したネットワークに DHCP サーバーが見つからない場合は、[STATUS]ランプが緑点灯かつ赤点滅します。
対処	接続したネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していることをご確認ください。 ※DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に、固定の IP アドレス：192.168.0.200 に設定されます。

原因	DHCP サーバーのない環境で使用している、あるいは、DHCP サーバーと本製品の組み合わせにより IP アドレスが割り当てられない。
対処	本製品の IP アドレスを手動で固定の IP アドレスに設定してください。 【本製品に固定 IP アドレスを設定したい】(91ページ)

原因	LAN 接続モードで使用する共有フォルダーを、USB 接続モードから削除やリネームした。
対処	共有フォルダーに対して書き込みの際にエラーメッセージが表示される場合、上記の可能性があります。 リネームした場合は、2 方法のいづれかを行うことで再び共有フォルダーとして使用可能になります。 ①USB 接続モードから元の名前に戻します。 ②LAN 接続モードでリネームしたフォルダーの共有設定を行い、リネーム前の共有フォルダーの共有設定の解除を行います。 削除した場合は、設定画面の［フォルダー共有］タブの[共有フォルダーの設定]より、不要となったフォルダーの共有設定を解除してください。

原因	USB 接続モードで本製品をフォーマットした、パーティションを変更した。
対処	LAN 接続モードでデータ領域を認識できなくなっている可能性があります。 本製品のフォーマットまたは初期化が必要です。 フォーマットは、［ディスク］タブの[フォーマット]から行ってください。 初期化は、［システム］タブの[システムの初期化]から行ってください。

◆セットアップ時のトラブル（ネットワークへの導入時）

EasySetup を実行したら選択画面が表示された

原因	複数のネットワークを使用しているため、以下のインターフェイスの設定画面が表示された。
対処	本製品を接続する予定のネットワークにつながっているインターフェイスを選択するか、本製品を接続予定のネットワークのみにパソコンをつなげてください。

現在のネットワーク環境に DHCP サーバーがあるかわからない

対処	ご使用のネットワーク環境に、「ブロードバンドルーター」「ルーター機能付きの ADSL モデム」「Windows NT 系のサーバー」などがある場合は、これらの DHCP サーバー機能を使用している可能性があります。 以下の【方法１】あるいは【方法２】などの手順で確認できます。 方法１：パソコンの IP アドレスの設定で確認する（次ページ） 方法２：Windows 標準添付のツールを使って確認する（79ページ）

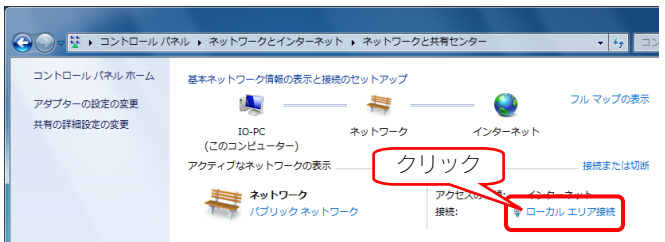
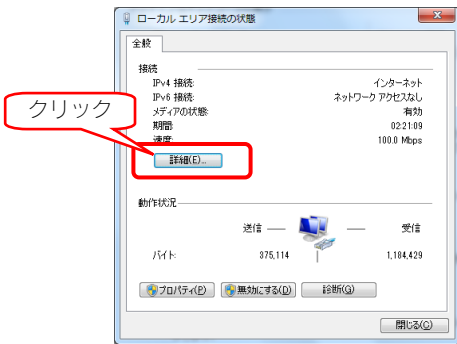
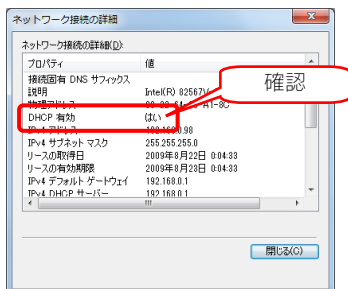
方法１：パソコンの IP アドレスの設定で確認する

すでにネットワーク内にあるインターネットなどに正常にアクセスできるパソコンの IP アドレスの設定で確認できます。
（IP アドレスの設定が"DHCP サーバーから取得する"設定になっていて正常に LAN 内で使用できている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあります。）

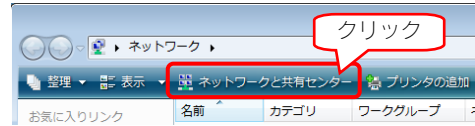
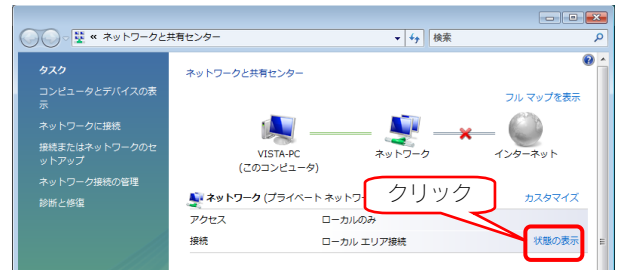
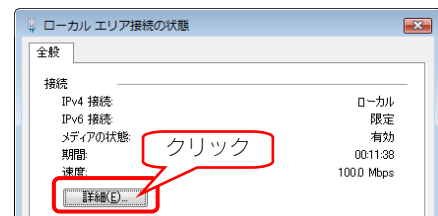
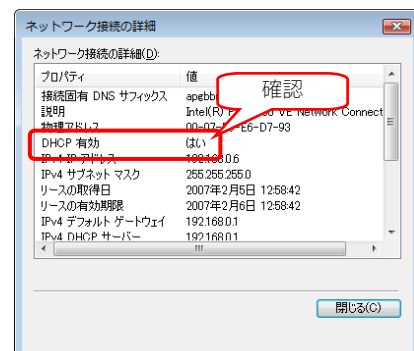
●Windows 7 の場合

1 [スタート]→[コンピューター]をクリックし、表示された画面左の[ネットワーク]をクリックします。

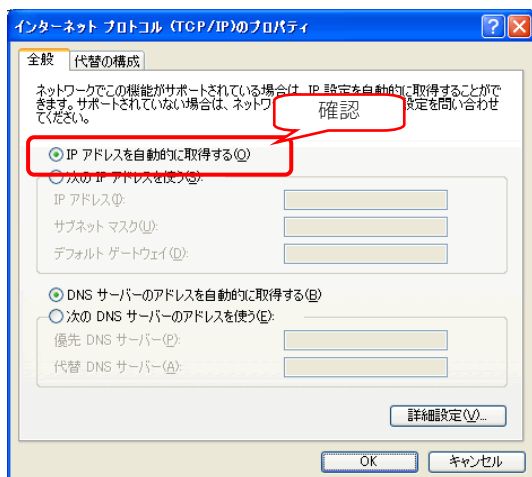
2 [ネットワークと共有センター]をクリックします。

3 [ローカルエリア接続]をクリックします。

4 [詳細]をクリックします。

5 [DHCP 有効]欄に[はい]と表示されていれば、DHCP サーバーがあります。

●Windows Vista®の場合

1 ［スタート］→［ネットワーク］をクリックします。

2 ［ネットワークと共有センター］をクリックします。

3 ［状態の表示］をクリックします。

4 ［詳細］をクリックします。

5 [DHCP 有効]欄に[はい]と表示されていれば、DHCP サーバーがあります。

●Windows XP の場合

1	パソコンの IP アドレスを確認できる画面を開きます。

2	パソコンの IP アドレスの設定が、[IP アドレスを自動的に取得（する）]や［DHCP サーバーを参照］となっている場合は、ネットワーク内に DHCP サーバーがあると考えられます。

方法２：Windows 標準添付のツールを使って確認する

Windows 標準添付のツールで DHCP サーバーを利用しているかを確認できます。

●Windows 7、Vista®の場合

1 ［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を開きます。

2 IPCONFIG　-ALL
　（G と-の間にスペースが入ります）
と入力して［Enter］キーを押します。

3 DHCP 有効の欄に「はい」が表示されている場合は、DHCP サーバーがあります。

●Windows XP の場合

1 ［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を開きます。

2 IPCONFIG　-ALL
　（G と-の間にスペースが入ります）
と入力して［Enter］キーを押します。

3 ［DHCP Server］欄にアドレス（DHCP サーバーのアドレス）が表示されていれば、DHCP サーバーがあります。

[Magical Finder]で本製品が検索されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（［STATUS］ランプが点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか、本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。

原因	セキュリティ関連のソフトウェアが制限している。
対処	セキュリティ関連のソフトウェア（ファイアウォールソフト）の動作を一時的に停止していただき、本製品が検索されるかどうかをお試しください。 また、一時的に停止した場合に検索されるようになった場合には、「Magical Finder」をファイアウォールソフトの除外設定を行うと、ファイアウォールソフトを動作させたまま、本製品を検索することが可能となります。

＜参考：Windows 7 の Windows ファイヤーウォール機能の除外設定＞

①	あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。 「Magical Finder」のインストール方法は、【①設定ソフトをインストールする】(14ページ)をご覧ください。
②	［スタート］-［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］を開きます。 ※ユーザーカウント制御の確認画面が表示された場合は「続行」ボタンをクリックします。
③	［設定の変更］ボタンをクリックします。
④	一覧から「Magical Finder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑤	「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。

以上で Windows 7 のファイヤーウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。

＜参考：Windows Vista®の Windows ファイヤーウォール機能の除外設定＞

①	あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。 「Magical Finder」のインストール方法は、【①設定ソフトをインストールする】(14ページ)をご覧ください。
②	［スタート］-［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］を開きます。 ※ユーザーカウント制御の確認画面が表示された場合は「続行」ボタンをクリックします。
③	［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。
④	一覧から「Magical Finder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑤	「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。

以上で Windows Vista®のファイヤーウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。

＜参考：Windows XP ServicePack2 の Windows ファイヤーウォール機能の除外設定＞

①	あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。 「Magical Finder」のインストール方法は、【①設定ソフトをインストールする】(14ページ)をご覧ください。
②	［スタート］→［コントロールパネル］→［セキュリティセンター］を開きます。
③	一番下の「Windows ファイヤーウォール」をクリックします。
④	［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。
⑤	一覧から「Magical Finder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑥	「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。

以上で Windows XP SP2 のファイヤーウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。デスクトップ上にコピーされている[Magical Finder]をクリックすると、本製品が検索されます。設定変更や設定画面を開く際にご利用ください。

原因	本製品が再起動中である。
対処	本製品が起動するまで（［STATUS］ランプが緑点灯※するまで）お待ちください。 ※DHCP サーバーの無いネットワークにはじめて接続した場合は、緑点灯かつ赤点滅します。

DHCP サーバーがあるのに、[STATUS]ランプが緑点灯かつ赤点滅している

原因	正しく接続されていない。
対処	いったん本製品の[POWER]ボタンを押して電源を切り、LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してから、再度電源を入れてください。

原因	DHCP サーバーから本製品の IP アドレスが取得できていない。 ※本製品の DHCP クライアント設定が on(出荷時設定)に設定されている場合で、接続したネットワークに DHCP サーバーが見つからない場合は、[STATUS]ランプが緑点灯かつ赤点滅します。
対処	接続したネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していることをご確認ください。 ※DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に、固定の IP アドレス：192.168.0.200　に設定されます。

原因	DHCP サーバーがない環境で使用している、あるいは、DHCP サーバーと本製品の組み合わせにより IP アドレスが割り当てられない。
対処	本製品の IP アドレスを手動で固定の IP アドレスに設定してください。 【本製品に固定 IP アドレスを設定したい】（91ページ）

パソコンと本製品を直接接続すると、[STATUS]ランプが緑点灯かつ赤点滅している

原因	はじめて本製品をパソコンに接続した。
対処	パソコンにはじめて直接接続した場合、[STATUS]ランプが緑点灯かつ赤点滅します。 設定画面で、本製品の IP アドレスを固定に設定し、[POWER]ボタンで一度本製品の電源を切り(シャットダウン)後、再度本製品の電源を入れれば、[STATUS]ランプが緑色に点灯します。 本製品の IP アドレスを固定にする方法は、【本製品に固定 IP アドレスを設定したい】（91ページ）をご覧ください。

[LAN DISK の名前]を変更したい

対処	【システム名を変更する】（50ページ）をご覧ください。

ファイアウォールソフトで、本製品に対してアクセスを許可させたい場合、どのポート番号で設定すればよいかわからない

対処	137～139 番、445 番のポートに対してアクセスを許可する設定を行ってください。 詳しい設定方法については、アプリケーションメーカーにご確認ください。

パソコンの IP アドレスがわからない

対処	パソコンの IP アドレスは以下の方法で確認することができます。 添付ユーティリティ「Magical Finder」で確認することができます。以下をご覧ください。 【パソコンの IP アドレスの確認】(次ページ)参照

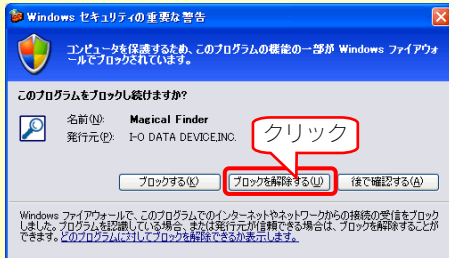
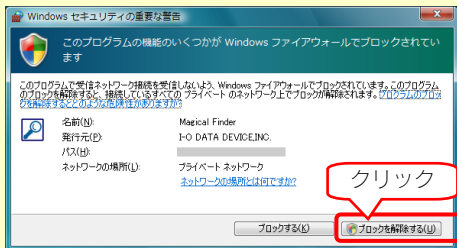
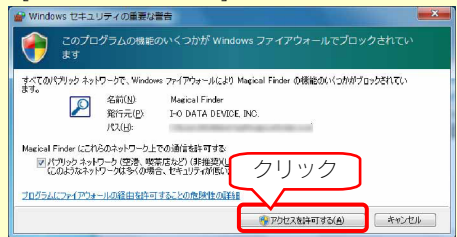
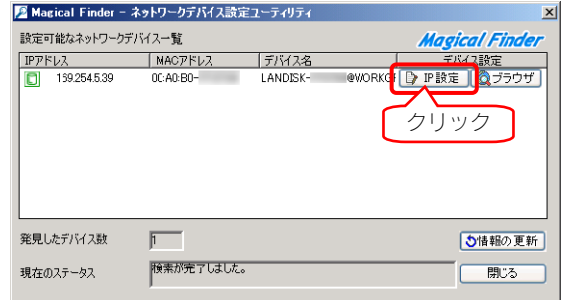
USB 接続時にフォーマットしてしまった

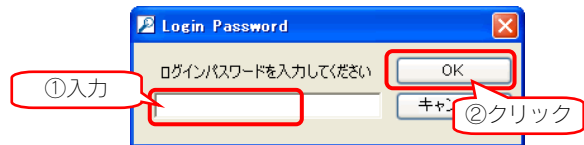
対処	USB 接続時にフォーマットしてしまった場合、そのままでは LAN 接続で使用できなくなります。 LAN 接続で使用したい場合は、LAN 接続の上で設定画面の[ディスク]タブの[フォーマット]項目からフォーマットを行ってください。 ※フォーマットを行った場合記録されていたデータは失われます。必要なデータが含まれている場合は別の媒体等へデータの退避を行ってください。

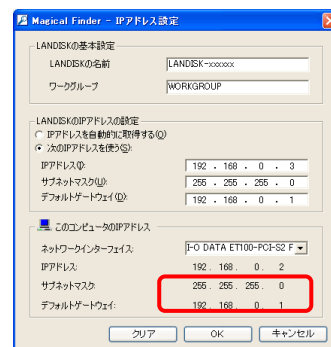
パソコンの IP アドレスの確認

パソコンの IP アドレスは、添付ユーティリティー「Magical Finder」で確認することができます。

1 インストールした「Magical Finder」を起動します。
「スタート」→「すべてのプログラム」→「I-O DATA」→「Magical Finder」をクリックします。
サポートソフトのインストール方法は、【①設定ソフトをインストールする】(15ページ)をご覧ください。

●Windows XP をお使いで、以下の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックしてください。

●Windows Vista をお使いで、以下の画面が表示された場合、[ブロックを解除する]をクリックしてください。その後[ユーザーカウント制御]の表示がされた場合は、「続行する」をクリックしてください。

●Window 7 をお使いで、以下の画面が表示された場合は、[アクセスを許可する]をクリックしてください。

2 自動で本製品が検索されますので、[IP 設定]ボタンをクリックします。
※本製品の電源が ON になってから、検索されるまでに約 1 〜2 分かかる場合があります。

本製品が検索されない！
対処１：30 秒ほど待ってから[情報の更新]ボタンをクリックしてください。
対処２：以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の80ページ

3 管理者パスワードを入力後（出荷時はパスワードは設定されていません）、[OK]ボタンをクリックします。

「パスワードが間違っています。」と表示された！
対処：［OK］ボタンをクリック後、以下の個所を参照してください。
【困ったときには】の89ページ

4 表示された［IP アドレス設定］画面の［このコンピュータの IP アドレス］で確認できます。

以上で確認は、終了です。

◆本製品へアクセス時のトラブル

「LANDISK-xxxxxx」アイコンをダブルクリックしてもアクセスができない

対処	本製品の電源が入っているか（［STATUS］ランプが緑点灯しているか）、LANケーブルがLANポートに接続されているか確認してください。 (パソコンを接続しているポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。) ※［STATUS]ランプが緑点灯かつ赤点滅したままの場合は、【[STATUS]ランプが緑点灯かつ赤点滅している】(96ページ)をご覧ください。

対処	セキュリティー関連のソフトウェアのファイヤーウォール機能を無効にすると検索される場合があります。詳しくは、セキュリティー関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

対処	お使いのパソコンのIPアドレスが「192.168.1.xxx」に設定されている環境で、本製品のIPアドレスが「192.168.0.200」に設定されているなど、ネットワークアドレス(セグメント)が合っていないことが考えられます。 本製品のIPアドレスの設定を、お使いのネットワーク環境にあわせて設定してください。

対処	複数のネットワークインターフェイスが有効だと見つからない場合があります。使用するネットワークインターフェイス以外を無効にしてお試しください。

毎回「guest」入力をせず、アクセスができるようにしたい

対処	[disk]フォルダーに対して、各パソコンにログオンしているユーザー名を登録すると、毎回「guest」を入力しなくても[disk]フォルダーにアクセスすることができます。 【設定手順】 ①共有フォルダーにアクセスさせたいパソコンすべてのユーザーを登録します。 ユーザー名、パスワードはパソコン起動時にログオンしているユーザー名とパスワードを登録します。 方法は、【ユーザーを登録する】(31ページ)をご確認ください。 ※ユーザー名とパスワードは、確認したユーザー名とパスワードと同じものを入力します。 ②登録したユーザーに、[disk]フォルダーを追加します。 方法は、【フォルダーの共有を設定（解除）する】(33ページ)内の【●共有フォルダーを設定する】をご覧ください。 以上で設定は終了です。 この後、デスクトップ上の「LANDISK-xxxxx」から[disk]フォルダーへアクセスするときにユーザー名とパスワードの入力画面が表示されなくなります。 【参考】 ネットワークドライブの割り当て設定を行うと、「コンピュータ」から[disk]フォルダーを直接開くこともできます。 方法は、【ネットワークドライブの割り当て方法がわからない】(100ページ)をご確認ください。

本製品にアクセスできないパソコンがある（他のパソコンからは既に LAN DISK にアクセスできている場合）

対処

すでに他のパソコンが本製品にアクセスできている場合、本製品自体の動作､設定には問題はありません。
LAN DISK に接続できないパソコンで以下の点をご確認ください。

「コンピュータの検索」にて LAN DISK の名前ではなく､本製品に設定されている IP アドレスで検索を行ってください｡

●IP アドレスの検索で見つかる場合

TCP/IP で正しく通信できていますので、IP アドレス設定は正常です。
また、検索の結果表示された共有フォルダーへのアクセスをお試しください。

●IP アドレスの検索で見つからない場合

検索した IP アドレスが LAN DISK に設定されたものではない､または IP アドレスが正しく設定されていない可能性があります。以下の点をご確認ください。

＜本製品の IP アドレスに PING を実行する＞

①MS-DOS プロンプト（コマンドプロンプト）を起動します。
「スタート」-「プログラム（すべてのプログラム）」-「アクセサリ」-「コマンドプロンプト」を起動します。

②「ping」と入力し、スペースを 1 文字あけてから、本製品の IP アドレスを入力し Enter キーを押します。
入力例） C:\xxxxx>ping 192.168.0.200 ［Enter］

③応答メッセージが表示されますので、メッセージ内容によりそれぞれの対処をご確認ください。

＜「Reply from・・・」と応答があった場合＞
OS のファイル共有サービスが正しく動作していない可能性があります。
お使いの LAN アダプターのドライバーを再インストールしてみてどうかお試しください。

＜「Request time out」と応答があった場合＞
・本製品の IP アドレスが、パソコンの IP アドレスと同じセグメントの IP アドレスになっているかを確認してください。
Windows パソコンの場合、［Magical Finder］より確認することができます。
【本製品に設定されている IP アドレスを調べたい】（91ページ）
・ファイアウォールソフトがインストールされている場合には、一時的に機能を無効にしてみてどうかご確認ください。

誰でもアクセスできるフォルダーを作りたい

対処

ユーザー登録したいパソコンが、OS ログオン時に使用しているユーザー名とパスワードを事前に確認しておきます。
アカウント不明の場合は、[スタート]→[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]で確認できます。

【設定手順】

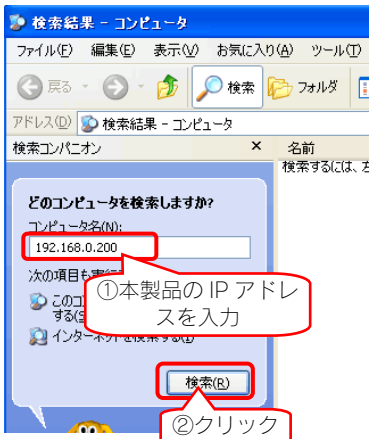
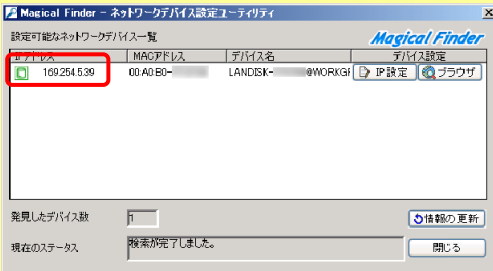
①共有フォルダーにアクセスしたいパソコンすべてのユーザー登録を行います。
ユーザー名、パスワードはパソコン起動時にログオンするときのユーザー名とパスワードを登録してください。
方法は、【ユーザーを登録する】(31ページ)をご確認ください。

②共有フォルダーを作成します。
方法は、【フォルダーを作成する】(32ページ)をご確認ください。
※本製品の仕様上、ユーザー登録を行うと登録したユーザー名と同じ名前の共有フォルダーが自動的に作成されます。
使用しない場合は、[フォルダー覧]で選択し、[削除]ボタンをクリックして削除してください。

③フォルダーの共有を設定します。
①で設定した各ユーザーに対して、②で作成した共有フォルダーを追加します。
方法は、【フォルダーの共有を設定（解除）する】(33ページ)内の【●共有フォルダーを設定する】をご覧ください。

以上で、作成した共有フォルダーに対してアクセスしたいすべてのユーザーから、パスワード要求の画面は表示されずにアクセスできるようになります。
この後、該当共有フォルダーをネットワークドライブの割り当てにすると、[マイコンピュータ]から簡単にアクセスができるようになります。
ネットワークドライブの割り当て方法については、【ネットワークドライブの割り当て方法がわからない】(100ページ)をご覧ください。

「LANDISK」のアイコンを開いたり、共有フォルダーを開こうとすると、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示される

原因	共有フォルダーにアクセス権限の設定を行っていて、本製品に登録したユーザー名、パスワードと、パソコンからログオンしたユーザー名とパスワードが一致していない。
対処	ネットワークログイン時に入力する［ユーザー名]、[パスワード]と本製品に登録したユーザーの[ユーザー名]、[パスワード]が一致するように本製品とパソコンの設定をしてください。 【パソコンの設定について】 OS 側にユーザー登録しなおします。 ユーザー登録されていない場合には、本製品に登録した［ユーザー名］［パスワード］と同じユーザーカウントを作成してください。 【本製品の設定について】 ①ユーザー登録を行います。 ユーザー名、パスワードはパソコン起動時にログオンするときのユーザー名とパスワードを登録してください。 方法は、【ユーザーを登録する】(31ページ)をご確認ください。 ②共有フォルダーを作成します。 すでに作成済みの共有フォルダーがある場合は、③へ進みます。 方法は、【フォルダーを作成する】(32ページ)をご確認ください。 ※本製品の仕様上、ユーザー登録を行うと登録したユーザー名と同じ名前の共有フォルダーが自動的に作成されます。 使用しない場合は、[フォルダー覧]で選択し、[削除]ボタンをクリックして削除してください。 ③フォルダーの共有を設定します。 ①で設定した各ユーザーに対して、作成した共有フォルダーを追加します。 方法は、【フォルダーの共有を設定（解除）する】(33ページ)内の【●共有フォルダーを設定する】をご覧ください。

本製品にネットワーク経由で接続するパソコンの台数に制限はありますか？

対処	本製品にネットワーク経由で接続の場合、最大同時接続台数は 8 台です。（ネットワークドライブの割り当ても同様です。） 同時接続台数が増加するとパフォーマンスが低下します。

[コンピュータの検索]で[Landisk-xxxxxx]が見つからない

原因	ネットワークの参照に時間がかかっている。
対処	［表示］メニュー→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因	本製品がネットワークに正しく接続されていない。
対処	本製品の電源が入っているか（［STATUS］ランプが点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。 (本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因	ファイアウォール系のソフトウェアを使用している。
対処	ファイアウォール系のソフトウェアで、本製品のコンピュータ名（初期値は「Landisk-xxxxxx」※）や本製品のIPアドレス（初期値は「192.168.0.200」）を使用できるように設定してください。 ※xxxxxxはMACアドレスの下6桁 詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

原因	本製品の IP アドレスを変更後、検索しようとしている。
対処	パソコンを一度再起動する必要があります。 Windows が以前の情報を保持しているため、再起動で保持している情報を一度クリアする必要があるからです。

原因	ネットワーク機能が不安定なため、ネットワーク参照が正しく行えない。
対処	・設定画面が開けることをご確認ください。 ・LAN アダプターが正常に認識されていることをご確認ください。（詳しくは、各 LAN アダプターの取扱説明書をご覧ください。）

原因	パソコン側の名前解決がうまくいっておらず、[LANDISK-xxxxxx](コンピュータ名)の文字での検索では検索されない。
対処	本製品に設定されている IP アドレス（出荷時は、192.168.0.200）を入力して検索してみてください。

※本製品の IP アドレスは、「Magical Finder」で確認することができます。
表示されている［IP アドレス］が本製品の IP アドレスです。

・「Magical Finder」の入手方法

<方法 1>

インターネットから弊社ホームページ「http://www.iodata.jp/lib」より、「Magical Finder」を選択してダウンロードします。
本製品を LAN 接続の状態で起動した上で、「Magical Finder」を起動してください。

<方法 2>

本製品を電源を切り、USB で接続し直した上で、電源を入れなおします。
本製品にアクセスすると「Magical Finder」が保存されていますので、デスクトップ等にコピーしてください。
再度本製品の電源を切り、LAN で接続した上で電源を入れ直して、デスクトップ等にコピーした「Magical Finder」を起動してください。

原因	お使いのネットワークの IP アドレスのセグメントが本製品の IP アドレスと異なっている。
対処	▼ブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーをお使いの環境の場合 →いったん本製品の電源を入れ直していただき、再度検索できるかどうかお試しください。 ▼DHCP サーバーがない場合 →本製品の IP アドレスをお使いのネットワークに合った IP アドレスに変更してください。

原因	本製品とお使いのパソコンのワークグループ名が異なる。
対処	本製品とパソコンのワークグループ名を一致するように設定してください。 ・本製品のワークグループ名・・・設定画面の【［ステータス］】（66ページ）参照 ・パソコンのワークグループ名・・・【パソコンの［ワークグループ名］がわからない】（99ページ）参照

本製品を参照した場合に、見覚えのないフォルダーやファイルがある

原因	アプリケーションが作業中に作成・削除した。
対処	アプリケーションによっては、作業ファイルを作成・削除するものがあります。

パソコンから共有フォルダーにログオンしようとすると、エラーメッセージが出てきてログオンができない

原因	LAN DISK に登録したユーザー名・パスワードと、パソコンに登録したユーザー名とパスワードが 一致していない可能性が考えられます。
対処	LAN DISK に登録したユーザー名・パスワードを、パソコンでも作成し、OS ログイン時にそのユーザー名・パスワードを使ってログインしてください。

[Magical Finder]で本製品が検索されない

原因	接続が正しく行われていない。
対処	本製品の電源が入っているか（［STATUS］ランプが点灯しているか）、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。 (本製品を接続したブロードバンドルーターやハブあるいはパソコン側の LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因	検索に時間がかかっている。
対処	30 秒ほど待ってから、[情報の更新]ボタンをクリックしてください。

原因	セキュリティ関連のソフトウェアが制限している。
対処	セキュリティ関連のソフトウェア（ファイアウォールソフト）の動作を一時的に停止していただき、本製品が検索されるかどうかをお試しください。また、一時的に停止した場合に検索されるようになった場合には、「Magical Finder」をファイアウォールソフトの除外設定を行うと、 ファイアウォールソフトを動作させたまま、本製品を検索することが可能となります。（詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください）。

＜参考：Windows 7 の Windows ファイヤーウォール機能の除外設定＞

①	あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。 「Magical Finder」のインストール方法は、【①設定ソフトをインストールする】(14ページ)をご覧ください。
②	［スタート］-［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］を開きます。 ※ユーザーカウント制御の確認画面が表示された場合は「続行」ボタンをクリックします。
③	［設定の変更］ボタンをクリックします。
④	一覧から「Magical Finder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑤	「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。

以上で Windows 7 のファイヤーウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。

＜参考：Windows Vista®の Windows ファイヤーウォール機能の除外設定＞

①	あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。 「Magical Finder」のインストール方法は、【①設定ソフトをインストールする】(14ページ)をご覧ください。
②	［スタート］-［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］を開きます。 ※ユーザーカウント制御の確認画面が表示された場合は「続行」ボタンをクリックします。
③	［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。
④	一覧から「Magical Finder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑤	「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。

以上で Windows Vista®のファイヤーウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。

＜参考：Windows XP ServicePack2 の Windows ファイヤーウォール機能の除外設定＞

①	あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。 「Magical Finder」のインストール方法は、【①設定ソフトをインストールする】(14ページ)をご覧ください。
②	［スタート］→［コントロールパネル］→［セキュリティセンター］を開きます。
③	一番下の「Windows ファイヤーウォール」をクリックします。
④	［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。
⑤	一覧から「Magical Finder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑥	「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。

以上で Windows XP SP2 のファイヤーウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。デスクトップ上にコピーされている[Magical Finder]をクリックすると、本製品が検索されます。設定変更や設定画面を開く際にご利用ください。

原因	本製品が再起動中である。
対処	本製品が起動するまで（［STATUS］ランプが緑点灯※するまで）お待ちください。 ※DHCP サーバーの無いネットワークに接続した場合は、緑点灯かつ赤点滅します。

◆設定画面に関するトラブル

ネットワークに導入後、本製品の設定画面が表示されない

対処１	デスクトップ上にある、[LANDISK-xxxxxxWEB 設定画面]ショートカットから開いてみてください。

対処２	［Magical Finder］を起動し、本製品を検索してみてください。 詳しくは【設定画面を開く】（26ページ）をご覧ください。

対処３

セキュリティ関連のソフトウェア（ファイアウォールソフト）の動作を一時的に停止していただき、本製品が検索されるかどうかをお試しください。
また、一時的に停止した場合に検索されるようになった場合には、「Magical Finder」をファイアウォールソフトの除外設定を行うと、ファイアウォールソフトを動作させたまま、本製品を検索することが可能となります。
（詳しいソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアメーカーにお問い合わせください）。

＜参考：Windows 7 の Windows ファイヤーウォール機能の除外設定＞	
①	あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。 「Magical Finder」のインストール方法は、【①設定ソフトをインストールする】（14ページ)をご覧ください。
②	［スタート］-［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］を開きます。 ※ユーザーカウント制御の確認画面が表示された場合は「続行」ボタンをクリックします。
③	［設定の変更］ボタンをクリックします。
④	一覧から「Magical Finder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑤	「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。
以上で Windows 7 のファイヤーウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。	

＜参考：Windows Vista®の Windows ファイヤーウォール機能の除外設定＞	
①	あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。 「Magical Finder」のインストール方法は、【①設定ソフトをインストールする】（14ページ)をご覧ください。
②	［スタート］-［コントロールパネル］-［Windows ファイアウォールによるプログラムの許可］を開きます。 ※ユーザーカウント制御の確認画面が表示された場合は「続行」ボタンをクリックします。
③	［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。
④	一覧から「Magical Finder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑤	「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。
以上で Windows Vista®のファイヤーウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。	

＜参考：Windows XP ServicePack2 の Windows ファイヤーウォール機能の除外設定＞	
①	あらかじめ「Magical Finder」をパソコンにインストールします。 「Magical Finder」のインストール方法は、【①設定ソフトをインストールする】（14ページ)をご覧ください。
②	［スタート］→［コントロールパネル］→［セキュリティセンター］を開きます。
③	一番下の「Windows ファイヤーウォール」をクリックします。
④	［例外］タブをクリックし、［プログラムの追加］ボタンをクリックします。
⑤	一覧から「Magical Finder」を選択し、［OK］ボタンをクリックします。
⑥	「プログラムおよびサービス」の一覧に「Magical Finder」が追加されることを確認し、［OK］ボタンをクリックします。
以上で Windows XP SP2 のファイヤーウォール機能を有効にした状態で、本製品の動作は制限されず検索が行えます。デスクトップ上にコピーされている[Magical Finder]をクリックすると、本製品が検索されます。設定変更や設定画面を開く際にご利用ください。	

設定画面で一部表示されない項目がある

原因	セキュリティ関連のソフトウェアの影響により表示されない。
対処	セキュリティ関連のソフトウェアのファイヤウォール機能により制限されている場合があります。 ファイヤウォール機能を本製品設定時のみ解除していただくか、本製品のソフトウェアはファイヤウォールの制限を受けないように設定を変更してお試しください。 なお、ファイヤウォール機能に関する設定については、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問合せください。

原因	ブラウザーのセキュリティレベルが高く設定されている。
対処	本製品の設定時のみセキュリティレベルを「中」に設定してください。 設定後は、元の「高」設定に戻してください。 ■Internet Explorer 6/7 をご利用の場合 ①デスクトップ、またはスタートメニューにある「Internet Explorer」のアイコンを右クリックし、メニューの中の[プロパティ]または、「インターネットのプロパティ」をクリックし、[インターネットオプション]もしくは[インターネットのプロパティ]を開いてください。 ②[セキュリティ]タブをクリックし、[このゾーンのセキュリティレベル]を「中」に合わせます。 ③[OK]ボタンをクリックします。 以上で終了です。

設定画面で文字が入力できない

原因	入力個所をクリックしていない。
対処	一度入力したい個所をクリックしてから入力してください。

原因	入力できない文字を入力しようとしている。
対処	入力できる文字かを確認してから入力してください。 本製品の設定画面上で入力できる文字には制限があります。【文字制限一覧】（64ページ）をご覧ください。

設定画面上から入力できる文字制限について

対処	【文字制限一覧】（64ページ）をご覧ください。

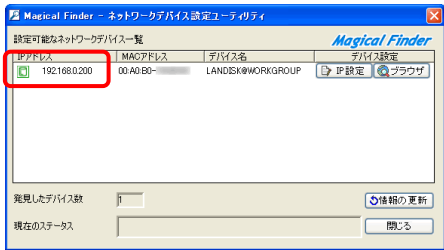
パスワード認証に失敗し設定画面を表示できない

原因	パスワードが間違っています。
対処	出荷時設定では、「パスワード：（なし）」に設定されています。 出荷時設定の場合は、パスワード入力欄には何も入力せずに［OK］ボタンをクリックすれば設定画面が表示されます。 設定画面のシステムの［管理者情報］ボタンでパスワードを設定した場合は、そのパスワードをパスワード入力欄に入力する必要があります。 再度パスワードをご確認いただき入力しなおしてみてください。 パスワードを忘れてしまった場合は、【IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】(57ページ)参照 をご覧になり、出荷時状態に戻してください。

原因	空白(スペース)のみのパスワードになっています。
対処	パスワード無しに設定したつもりで、空白(スペース)で設定されていることがありますので、空白(スペース)を入力してみてください。ログオンできない場合は、上の原因をご覧ください。

設定画面にログオンするためのパスワードがわからない

対処	出荷時設定では、「パスワード：（なし）」に設定されています。 出荷時設定の場合は、パスワード入力欄には何も入力せずに［OK］ボタンをクリックすれば設定画面が表示されます。 設定画面のシステムの［管理者情報］ボタンでパスワードを設定した場合は、そのパスワードをパスワード入力欄に入力する必要があります。 再度パスワードをご確認いただき入力しなおしてみてください。 パスワードを忘れてしまった場合は、【IP アドレス、管理者パスワードのみを出荷時設定に戻す】(57ページ)参照をご覧になり、出荷時状態に戻してください。

設定画面上のハードディスク使用領域が、ドライブのプロパティと異なる

対処	本製品が使用するファームウェアの制限で、ハードディスクに問題はありません。

◆本製品の IP アドレスについて

本製品に設定した IP アドレスを忘れた
本製品に設定されている IP アドレスを調べたい

DHCP サーバーのあるネットワークで確認する場合は、毎回以下の手順を行うことをおすすめします。
DHCP サーバーは常に固定の IP アドレスを割り当てるわけではありません。
下記手順でいったん確認できた IP アドレスも、本製品の電源を入れなおした後や DHCP サーバーを再起動した場合などには、本製品やパソコンに割り当てられた IP アドレスが変更されている場合もあります。

対処 1	添付ユーティリティ[Magical Fider]で調べる［Magical Finder］を起動してください。 表示されている［IP アドレス］が本製品の IP アドレスです。

・「Magical Finder」の入手方法
<方法 1>
インターネットから弊社ホームページ「http://www.iodata.jp/lib」より、「Magical Finder」を選択してダウンロードします。
本製品を LAN 接続の状態で起動した上で、「Magical Finder」を起動してください。
<方法 2>
本製品を電源を切り、USB で接続し直した上で、電源を入れなおします。本製品にアクセスすると「Magical Finder」が保存されていますので、デスクトップ等にコピーしてください。
再度本製品の電源を切り、LAN で接続した上で電源を入れ直して、デスクトップ等にコピーした「Magical Finder」を起動してください。

対処２	(DHCP サーバーのあるネットワークの場合) DHCP サーバー内の情報から確認する ご使用のブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーが、本製品に割り当てた IP アドレスの情報を記録している場合があります。詳しくは、DHCP サーバーとなっている機器の取扱説明書などをご覧ください。

本製品に固定 IP アドレスを設定したい

対処 1	本製品を[EasySetup]でセットアップした場合 ①設定画面を開きます。 設定画面の開き方は、【設定画面を開く】(26ページ)をご覧ください。 ②設定画面の[ネットワーク]タブをクリックします。 ③[手動で取得する(DHCP 無効)]を選択し、お使いのネットワークに合わせた IP アドレスを入力後、[設定]ボタンをクリックします。

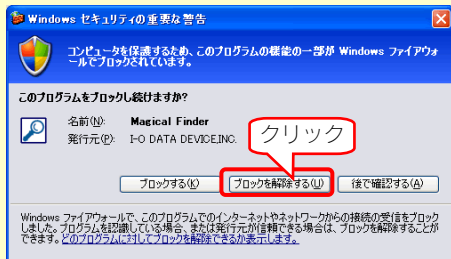
対処 2

「Magical Fainder」を使用して本製品の IP アドレスを、ご利用のネットワークに合わせた IP アドレスに固定してください。

※DHCP サーバーから IP アドレスを自動取得できなかった場合は、本製品の IP アドレスは「192.168.0.200」に固定されています。

①設定パソコンにて「Magical Fainder」を起動します。

注意

●Windows XP をお使いで、以下の画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックしてください。

●Windows Vista をお使いで、以下の画面が表示された場合、[ブロックを解除する]をクリックしてください。その後[ユーザーカウント制御]の表示がされた場合は、「続行する」をクリックしてください。

●Window 7 をお使いで、以下の画面が表示された場合は、[アクセスを許可する]をクリックしてください。

・「Magical Finder」の入手方法

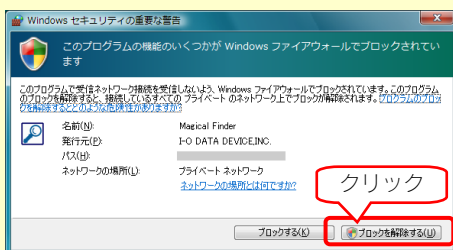
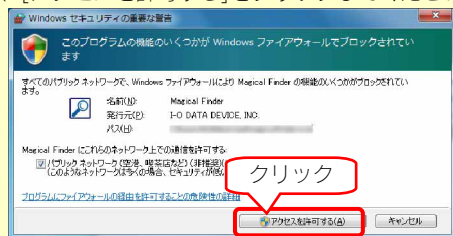
<方法 1>

インターネットから弊社ホームページ「http://www.iodata.jp/lib」より、「Magical Finder」を選択してダウンロードします。

本製品を LAN 接続の状態で起動した上で、「Magical Finder」を起動してください。

<方法 2>

本製品を電源を切り、USB で接続し直した上で、電源を入れなおします。本製品にアクセスすると「Magical Finder」が保存されていますので、デスクトップ等にコピーしてください。

再度本製品の電源を切り、LAN で接続した上で電源を入れ直して、デスクトップ等にコピーした「Magical Finder」を起動してください。

②自動で本製品が検索されますので、[IP 設定]ボタンをクリックします。

※本製品の電源が ON になってから、検索されるまでに約 1～2 分かかる場合があります。

③何も入力せずに［OK］ボタンをクリックします。

④お使いのネットワークに合わせた IP アドレスを設定後、［OK］ボタンをクリックします。

◆ファイルの保存について

本製品に保存したファイルに、「読み込みのみ」「読み書き可能」のような属性設定ができない

対処	製品の仕様上、ファイルごとのセキュリティー設定はできません。

ファイル名やフォルダー名の制限について

対処	本製品に保存できるファイルやフォルダー名は、文字制限があります。以下をご覧ください。 【文字制限一覧】（64ページ）

本製品にファイルをコピーする際のサイズの制限はありますか？

対処	接続モードによりファイルサイズの制限があります。以下をご覧ください。 【動作環境】（61ページ）

USB 接続モードで作成したフォルダーは LAN 接続モード時に使用できますか？

対処	USB 接続モード、LAN 接続モードの両方で同じフォルダーを使用したい場合は、LAN 接続モードでフォルダーの共有設定を行ってください。

◆iTunes サーバー機能について

iTunes に本製品が表示されない

原因	接続が正しく行われていない
対処	本製品の電源が入っているか（[STATUS］ランプが緑点灯しているか)、接続ケーブルが LAN に接続されているか確認してください。 (本製品を接続したブロードバンドルーターやハブの LAN ポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因	iTunes を実行するパソコンと本製品が通信できない設定になっている。
対処	iTunes を実行するパソコンより、本製品の設定画面を開けることを確認してください。 **【設定画面を開く】**（26ページ）

原因	本製品の iTunes サーバー機能の設定が行われていないことが考えられます。 ・サーバー機能の設定が無効となっている。 ・公開フォルダーの設定が＜無効＞となっている。 ・プレイリストが更新されていない。
対処	以下の手順で確認・設定を行ってください。 設定画面の[サーバー]タブをクリックします。 (ステップ 1)　サーバー機能の確認・設定 ・サーバー機能が無効と表示されている場合 サーバー機能の[有効/無効]ボタンをクリックし、有効の表示に切り替えます。(クリックするごとに、有効/無効が切り替わります) ・有効と表示されている場合 サーバー機能が有効となっております。(ステップ 2)へお進みください。 (ステップ 2)　公開フォルダーの確認・設定 ・同画面内の公開フォルダーが＜無効＞と表示されている場合 公開フォルダーのプルダウンボタンより公開したいフォルダーを選択し、[設定]ボタンをクリックします。 ・公開フォルダーが設定されている場合 公開フォルダーが設定が設定されています。(ステップ 3)へお進みください。 （ステップ 3）　プレイリストの更新 同画面内のプレイリストの[更新]ボタンをクリックします。

原因	本製品が再起動中である。
対処	本製品が起動するまで（[STATUS］ランプが緑点灯するまで）お待ちください。

原因	iTunes を実行するパソコンと本製品が同じネットワーク上にない。
対処	iTunes を実行するパソコンと本製品が同じネットワーク上にある必要があります。 パソコンの IP アドレスと、本製品の IP アドレスが同じセグメント（IP アドレスのグループ）にあることをご確認ください。

iTunes に表示されない、あるいは、再生できないファイルがある

原因	本製品が対応していないファイルフォーマットである。
対処	本製品は以下のファイル拡張子のファイルにのみ対応しています。 ※最新の対応情報は弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/)をご覧ください。 <table><tr><td>種類</td><td>ファイル拡張子</td></tr><tr><td>音楽</td><td>mp3　m4a　wav</td></tr></table>※ファイルによっては、上記ファイル拡張子でも再生できない場合もあります。

原因	iTunes サーバー機能にて公開しているフォルダーに非常に多くのファイルが入っている。
対処	iTunes サーバー機能にて公開しているフォルダーに非常に多くのファイルが入っている場合には、表示されるまでに待たされることがあります。 この場合、iTunes 用プレイリストの更新が行われている場合がありますので、しばらくお待ちください。 ※1万ファイル以内でご利用ください。

iTunes から本製品のファイルやフォルダーを見ることができない

原因	本製品の iTunes サーバー機能の公開フォルダーの設定、プレイリストの更新が行われていないことが考えられます。 ・公開フォルダーの設定が<無効>となっている。 ・プレイリストが更新されていない。
対処	以下の手順で確認・設定を行ってください。 設定画面の[サーバー]タブをクリックします。 (ステップ 1)　公開フォルダーの確認・設定 ・同画面内の公開フォルダーが<無効>と表示されている場合 公開フォルダーのプルダウンボタンより公開したいフォルダーを選択し、[設定]ボタンをクリックします。 ・公開フォルダーが設定されている場合 公開フォルダーが設定が設定されています。（ステップ 2）　へお進みください。 （ステップ 2）　プレイリストの更新 同画面内のプレイリストの[更新]ボタンをクリックします。

iTunes サーバー機能で公開したファイルが iTunes に正しく表示されない、あるいは再生できないファイルがある

原因	iTunes サーバー機能で公開するフォルダーに、音楽ファイルを追加、移動、削除をした後、本製品側の iTunes サーバーのプレイリストの更新を行っていない。
対処	以下の手順で、プレイリストの更新を行ってください。 ①設定画面の[サーバー]タブをクリックします。 ②プレイリストのプレイリストの[更新]ボタンをクリックします。

原因	MP3 の ID3 タグ情報の文字は UTF-16 のエンコーディングに対応しています。 UTF-16 以外の形式でエンコードされた ID3 タグ情報は、iTunes 上で曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報が文字化けして見える場合があります。
対処	曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報が文字化けするファイルをいったん本製品の共有フォルダーから、iTunes を実行するパソコンに移動し、iTunes にて「ID3 タグを変換」を行ってください。

◆ランプについて

[STATUS]ランプが緑点灯かつ赤点滅している

原因	正しく接続されていない。
対処	いったん本製品の[POWER]ボタンを押して電源を切り、LAN ケーブルが正しく接続されていることを確認してから、再度電源を入れてください。

原因	DHCP サーバーから本製品の IP アドレスが取得できていない。 ※本製品の DHCP クライアント設定が on(出荷時設定)に設定されている場合で、接続したネットワークに DHCP サーバーが見つからない場合は、[STATUS]ランプが緑点灯かつ赤点滅します。
対処	接続したネットワーク内の DHCP サーバーが正常に起動していることをご確認ください。 ※DHCP サーバーから正常に IP アドレスなどの割り当てが受けられない場合、本製品は自動的に、固定の IP アドレス：192.168.0.200　に設定されます。

原因	DHCP サーバーがない環境で使用している、あるいは、DHCP サーバーと本製品の組み合わせにより IP アドレスが割り当てられない。
対処	本製品の IP アドレスを手動で固定の IP アドレスに設定してください。 【本製品に固定 IP アドレスを設定したい】(91ページ)

パソコンと本製品を直接接続すると、[STATUS]ランプが緑点灯かつ赤点滅している

原因	はじめて本製品をパソコンに接続した。
対処	パソコンにはじめて直接接続した場合、[STATUS]ランプが緑点灯かつ赤点滅します。 設定画面で、本製品の IP アドレスを固定に設定し、[POWER]ボタンで一度本製品の電源を切り(シャットダウン)後、再度本製品の電源を入れれば、[STATUS]ランプが緑色に点灯します。 本製品の IP アドレスを固定にする方法は、【本製品に固定 IP アドレスを設定したい】（91ページ）をご覧ください。

ランプの動作について知りたい

対処	以下をご覧ください。 【各部の名称・機能】（62ページ）

◆内蔵ハードディスクについて

デフラグ機能はありますか？

対処	本製品にデフラグ機能はありません。

省電力機能が働かない

原因	本製品のシステムがアクセスしている。
対処	本製品のシステムが必要なファイルにアクセスする場合があります。

◆タイムサーバー機能使用時のトラブル

タイムサーバーとの同期が行われない

原因	［TCP/IP 設定］で正しく設定されていない。
対処	設定画面の［ネットワーク］タブ-［TCP/IP 設定］で、「ゲートウェイ」と「DNS サーバー」を設定してください。 入力するデフォルトゲートウェイと DNS サーバーの IP アドレスは、パソコンで設定されているものと同じ値に設定してください。 以下の手順で確認した IP アドレスを、本製品の「TCP/IP の設定」画面に入力してタイムサーバーとの同期の送信ができるかどうかご確認ください。 【デフォルトゲートウェイと DNS サーバーの確認方法】 ●Windows 7、Vista の場合 ①[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ] →[コマンドプロンプト]をクリックします。 ②IPCONFIG -ALL と入力して Enter キーを押します。（IPCONFIG と-ALL の間には半角スペースが入ります） ③[デフォルトゲートウェイ]と「DNS サーバー」の IP アドレスを確認します。 ●Windows XP の場合 ①［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］を開きます。 ②IPCONFIG -ALL と入力して Enter キーを押します。（IPCONFIG と-ALL の間には半角スペースが入ります） ③[Defalt Gateway]と[DNS Servers]の IP アドレスを確認します。

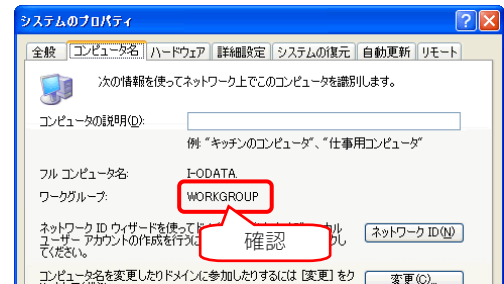
原因	インターネットに接続されていない。
対処	タイムサーバーより時刻情報を取得するため、インターネット接続環境（インターネットに接続可能なネットワークに本製品が接続されている必要があります。

◆パソコンのネットワーク設定について

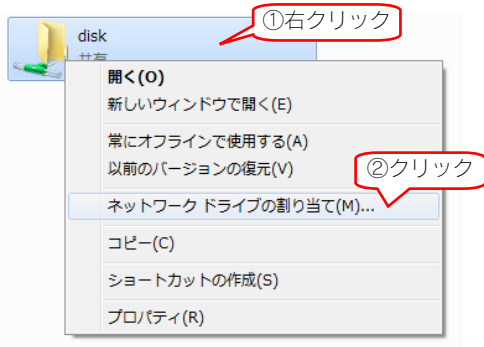
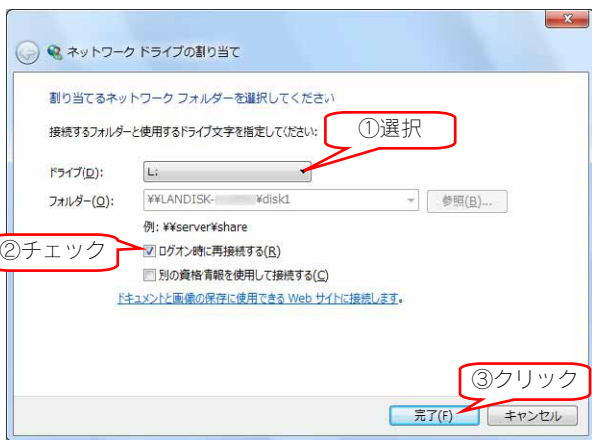
パソコンの IP アドレスがわからない

対処	添付ユーティリティ「Magical Finder」で確認することができます。以下をご覧ください。 【パソコンの IP アドレスの確認】(82ページ)参照

パソコンの［ワークグループ名］がわからない

対処	【パソコンのワークグループ名の確認方法】 ●Windows 7、Vista®の場合 ①［スタート］をクリック後、［コンピュータ］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。 ②コンピュータ名、ドメイン及びワークグループの設定のワークグループの欄で確認できます。 ●Windows XP の場合 ①［スタート］をクリック後、［マイ コンピュータ］を右クリックし、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。 ②［システムのプロパティ］画面で［コンピュータ名］タブをクリックすれば確認できます。

ネットワークドライブの割り当て方法がわからない

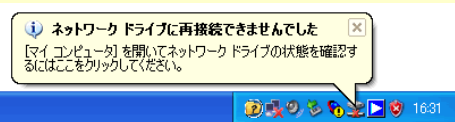
本製品（［disk］共有フォルダー）を、ネットワークドライブとして割り当てることができます。
ネットワークドライブとして割り当てれば、［マイコンピュータ］上から簡単にアクセスできるようになります。
※画面は Windows 7 を例にしています。

1 [disk]フォルダーを右クリックして、[ネットワークドライブの割り当て]をクリックします。

2 ネットワークドライブの割り当てを行います。
①[ドライブ]にて本製品に割り当てる文字を選びます。
（画面例では、L を選択しています。）
②[ログオン時に再接続する]にチェックを付けます。
③[完了]ボタンをクリックします。

3 ドライブの割り当てが完了すると、割り当てられたドライブのウィンドウが表示されます。

4 [マイコンピュータ]を開いて、割り当てられたドライブが認識されていることをご確認ください。
ネットワークドライブは、通常のディスクと同様にアクセスできます。

注意

●手順３ で[ログオン時に再接続する]へチェックを入れることにより、次回パソコン起動時にも、本製品がドライブとして登録されます。
ネットワークに接続していない場合は、パソコン起動時に以下のエラーメッセージが表示されます。

・Windows XP でのエラー画面例

●多くのパソコンからネットワークドライブとして割り当てると、本製品のパフォーマンスが低下する場合があります。

以上で完了です。

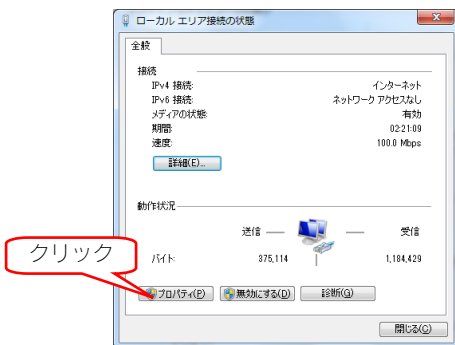
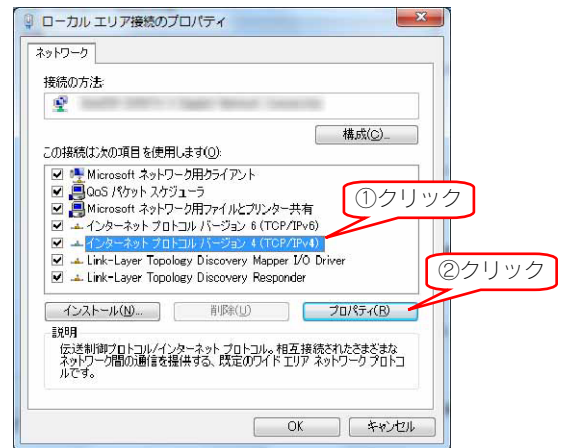
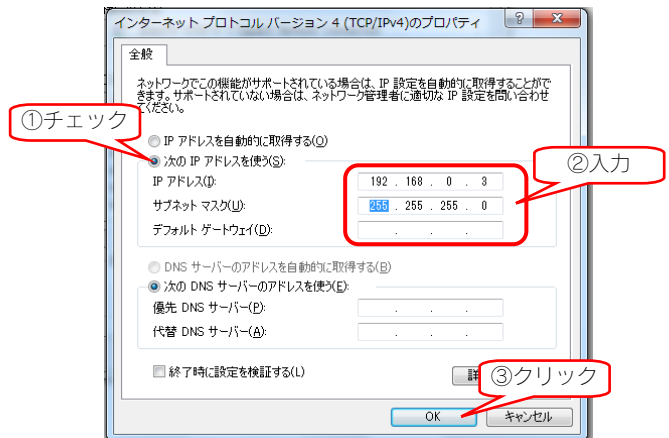
パソコンに固定の IP アドレスを設定するには

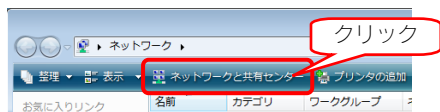
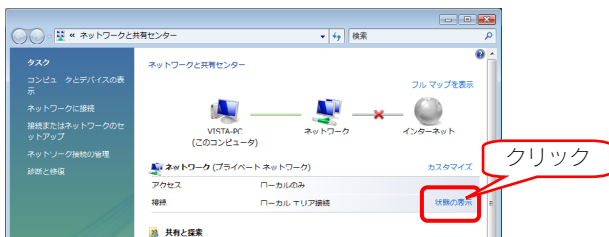
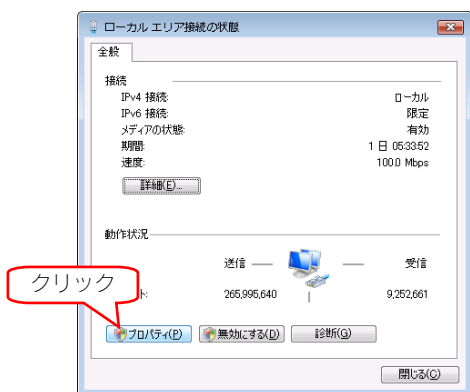
以下の手順は、パソコンに固定の IP アドレス（例は「192.168.0.3」）を設定する場合の例です。
一時的に変更する場合などは、必ず、以前の[IP アドレス]［サブネットマスク］［デフォルトゲートウェイ］などのアドレスはメモしてください。
ネットワーク内に DHCP サーバーが無い場合（本製品が「192.168.0.200」の IP アドレスで起動した場合）などに、パソコンから設定画面を開く際には、パソコン側は同じネットワークアドレスで別の IP アドレスを設定する必要があります。

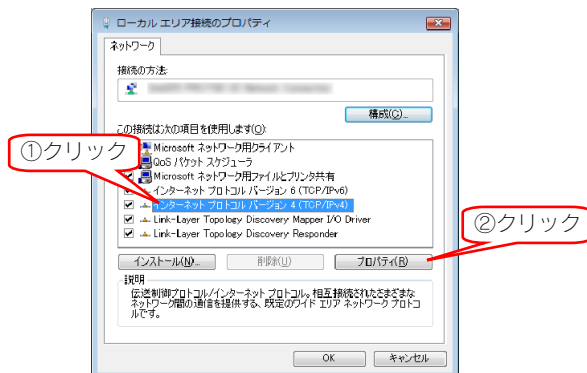
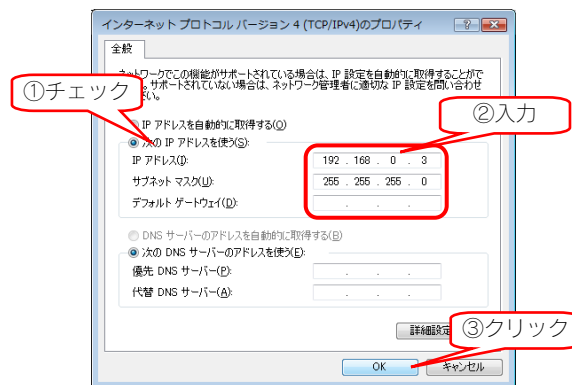
1 [スタート]→[コンピューター]→[ネットワーク]をクリックします。

2 [ネットワークと共有センター]をクリックします。

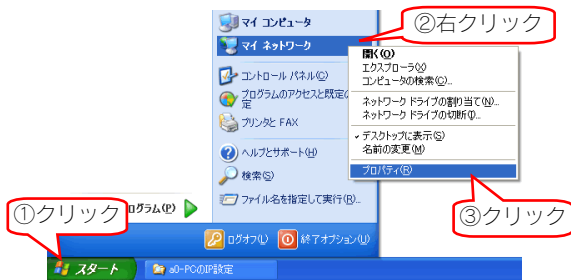
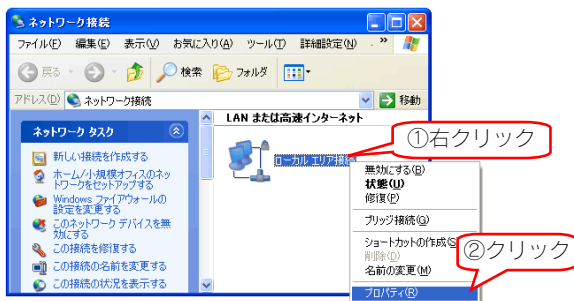
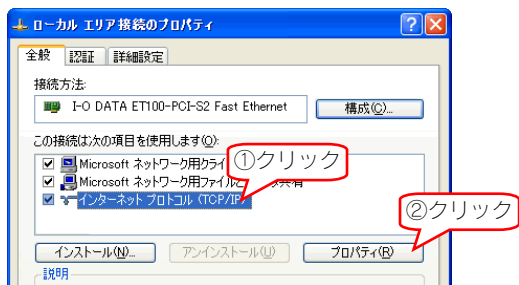
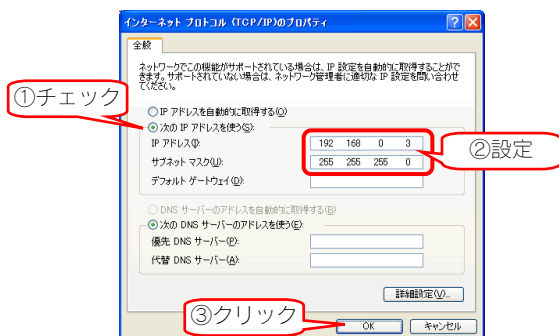
3 [ローカルエリア接続]をクリックします。

4 [プロパティ]をクリックします。

5 インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）]をクリックし、[プロパティ]をクリックします。

6 ［次の IP アドレスを使う］をチェック後、［IP アドレス］[サブネットマスク]を設定後、［OK］ボタンをクリックします。
※画面は設定値は、一例です。

Windows Vista®の場合

1 ［スタート］→［ネットワーク］をクリックし、［ネットワークと共有センター］をクリックします。

2 ［状態の表示］をクリックします。

3 ［プロパティ］をクリックします。

4 以下の確認画面が表示された場合は、[続行]をクリックします。

5 [インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）]をクリックし、[プロパティ]をクリックします。

6 ［次の IP アドレスを使う］をチェック後、［IP アドレス］[サブネットマスク]を設定後、［OK］ボタンをクリックします。
※画面は設定値は、設定例です。

以上で設定終了です。開いた画面を閉じてください。

Windows XP の場合

1	［スタート］→［マイネットワーク］を右クリック後、［プロパティ］をクリックします。

2	［ローカルエリア接続］アイコンを右クリック後、［プロパティ］をクリックします。

3	［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をクリック後、［プロパティ］ボタンをクリックします。

4	［次の IP アドレスを使う］をチェック後、［IP アドレス］[サブネットマスク]を設定後、［OK］ボタンをクリックします。 ※画面は設定値は、設定例です。

以上で設定終了です。開いた画面を閉じてください。

[ローカルエリア接続]アイコンに×マークが付いている

原因	LAN ケーブルが正しく接続されていない。
対処	パソコンに LAN ケーブルが接続されているか、また、パソコン接続先のネットワーク機器（ルーターやハブなど）に LAN ケーブルが接続されているかご確認ください。

原因	LAN ケーブルに問題がある。
対処	別の LAN ケーブルをお持ちの場合は、LAN ケーブルを交換してみてどうかお試しください。

アフターサービス

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

必ず以下の内容をご確認ください

【困ったときには】(73ページ)を参照

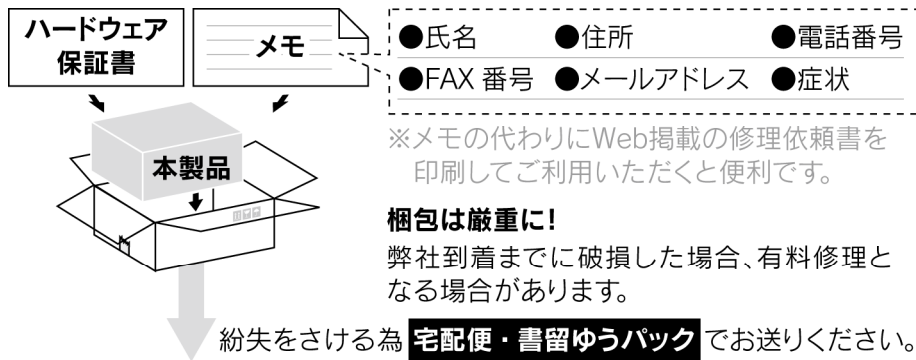
弊社サポートページの Q&A を参照
⇒　http://www.iodata.jp/support/

最新のドライバーソフト等をダウンロード
⇒　http://www.iodata.jp/lib/

それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電話： 東京　**03-3254-1144**　金沢　**076-260-3644**
FAX： 東京　**03-3254-9055**　金沢　**076-260-3360**
※受付時間　9：00～17：00　月～金曜日（祝祭日をのぞく）
インターネット： **http://www.iodata.jp/support/**

< ご用意いただく情報 >　製品名 / パソコンの型番 / OS（Windows、Mac OS）

修理をご依頼される場合は、以下の要領でお送りください。

〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

- ●送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
- ●有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。（見積無料） 金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- ●内部データは厳密な検査のため、消去されます。何卒、ご了承ください。 バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- ●お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- ●保証内容については、保証規定に記載されています。
- ●修理をお送りになる前に製品名とシリアル番号（S/N）を控えておいてください。

修理について詳しくは… http://www.iodata.jp/support/after/

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

5)本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

● I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● Microsoft、Windows および Windows Vista ロゴは、米国または他国における Microsoft Corporation の登録商標です。
● その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

HDL-C シリーズ取扱説明書　　2010.11.12
発 行　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地